

3 2011 年度予算の主な事業

重要な取り組み

新中長期計画策定事業

10 年先の町田を見据えたまちづくりと
行政経営のあり方を市民とともに検討
4,595 万円 (⇒18 ページ)

町田市保健所事業

新規

保健所政令市への移行に伴い保健所業
務を開始
2 億 9,890 万円 (⇒20 ページ)

安心して暮らせるまち ①

予防接種費用助成事業

新規

拡充

ヒブ・小児肺炎球菌・子宮頸がん予防・
高齢者肺炎球菌のワクチン接種費用を助成
3 億 3,123 万円 (⇒21,22 ページ)

保健医療計画改定事業

「健康」の視点に立った総合的なまちづ
くりを推進するため計画を策定
598 万円 (⇒23 ページ)

小中一貫校整備事業

2012 年 4 月に開校予定の大戸小学校・武
蔵岡中学校合同校舎型の小中一貫校を整備
3 億 8,480 万円 (⇒28 ページ)

小山中学校新設事業

2012 年 4 月に開校予定
20 億 8,215 万円 (⇒29 ページ)

小中学校空調機設置事業

中学校普通教室に空調機を設置
6 億 3,100 万円 (⇒30 ページ)

小中学校トイレ改修事業

小学校 1 年生の負担軽減を念頭に、小学
校中心にトイレを改修
2 億 4,775 万円 (⇒31 ページ)



子ども手当支給事業

拡充



2011 年 4 月分から、3 歳未満子ども 1
人につき月額 13,000 円から 20,000 円に増
額

97 億 1,743 万円 (⇒24 ページ)

待機児童解消対策事業

民間保育所の整備を支援
家庭的保育者を増員
5 億 3,265 万円 (⇒25 ページ)

公立保育園再編事業

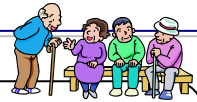
山崎保育園増改築の実施設計
1,205 万円 (⇒26 ページ)

子どもセンター整備事業

忠生地区子どもセンターの実施設計
町田地区子どもセンターの基本構想を
策定
2,427 万円 (⇒27 ページ)

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

安心して暮らせるまち ②



介護人材開発事業

新規

介護人材の確保、育成の活動を支援
1,031 万円 (⇒32 ページ)

特別養護老人ホーム整備事業

2011 年度に 4 施設 (470 床) 開設予定
3 億 2,532 万円 (⇒34,35 ページ)

あんしん相談室事業

新規

高齢者の地域見守りネットワークづくりの拠点となる「あんしん相談室」を設置
1,308 万円 (⇒33 ページ)

高齢社会総合計画改定事業

介護保険制度をはじめとする高齢者の地域での生活を支える取組みを示す計画を策定
723 万円 (⇒36 ページ)

障がい者雇用特例子会社

新規

設立支援事業

障がい者の雇用に配慮する子会社の設立を支援
300 万円 (⇒37 ページ)

防災センター整備事業

防災センターの整備計画を策定
850 万円 (⇒38 ページ)

夢のあるまち

鶴川駅前公共施設整備事業

2012 年 9 月に開館予定に向けた 2 年度目建設工事
12 億 2,381 万円 (⇒39 ページ)

生涯学習センター設置事業

2012 年 4 月に現中央公民館内に設置予定
1,378 万円 (⇒40 ページ)

市民センター・地域センター建替事業

忠生市民センターの基本・実施設計
成瀬センターの建替基本計画を策定
玉川学園文化センターの建替基本方針を策定
3,843 万円 (⇒41 ページ)

第 68 回 国民体育大会開催準備事業

2013 年 9 月開催の国体に向けて総合体育館を改修
9,488 万円 (⇒42 ページ)



小野路公園野球場整備事業

2012 年度高校野球西東京大会、2013 年度国体の軟式野球競技に向けて整備
1 億 9,122 万円 (⇒43 ページ)



町田市立陸上競技場整備事業

国体、Jリーグ基準を満たす競技場へ改修するための基本・実施設計
1 億 8,393 万円 (⇒44 ページ)



国際版画美術館展示事業

企画展・常設展の開催、2012 年度の開館 25 周年記念事業に向けた準備
2,842 万円 (⇒45 ページ)



※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

環境に配慮したまち

ごみ減量普及事業

ごみの減量と資源化に向け、循環型のまちづくりを市民と行政の協働により推進

8,551 万円 (⇒46 ページ)

環境マスタープラン改定事業

新たな環境規制、環境政策等へ対応可能な基本計画に改定

1,800 万円 (⇒47 ページ)

リサイクル施設整備事業

今後のリサイクル施設等の整備について市民とともに検討

3,371 万円 (⇒48 ページ)



都市農業経営パワーアップ事業

新規

トマトの温室整備費を支援

4,500 万円 (⇒49 ページ)



北部丘陵整備事業

農道、園路を整備

7,901 万円 (⇒50 ページ)

公園整備事業

薬師池西公園などの用地整備

9 億 9,903 万円 (⇒51 ページ)



活力あふれるまち

原町田一丁目地区まちづくり事業

原町田一丁目地区の広場機能の整備・高度利用を目的として、整備方針を示す基本計画を策定

1,275 万円 (⇒52 ページ)

観光交流センター整備事業

(仮称) 小野路宿通り観光交流センターを建設

1 億 673 万円 (⇒53 ページ)

新庁舎建設事業

2012 年 3 月に庁舎本体工事竣工予定

76 億 6,790 万円 (⇒58 ページ)

路線バス利用促進事業

2012 年 3 月に連節バス運行開始予定

2 億 3,475 万円 (⇒54 ページ)



地域コミュニティバス運行事業

2012 年度高ヶ坂地区のコミュニティバスの導入を準備

2,002 万円 (⇒55 ページ)

主要道路整備事業

13 億 6,008 万円 (⇒56,57 ページ)

下水道ビジョン策定事業

次世代につなげる良好な水環境を目指した計画を策定

593 万円 (⇒59 ページ)

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

件 名	新中長期計画策定事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
45,950		0	0	0	0	45,950

【事業の背景・目的】

町田市では、2010 年度から将来の町田を見据え、2012 年度から 2021 年までの 10 年間に何を目標にどのように仕事を進めていくのかを示す新しい基本計画（長期計画）と、その具体的な取り組みを示す 5 年間の中期経営計画の策定に取り組んでいます。2010 年度は、町田市を取り巻く状況を把握し、「政策課題の抽出」、「取り組みの方向性の検討」や「基礎的財政推計の作成」を行いました。

【事業の内容】

2011 年度は、町田市長期計画審議会や町田市基本計画検討市民モニターのほか、「町田市版事業仕分け」などさまざまな手法で多くの方に意見をうかがい、明らかになった政策課題を解決するための取り組みを検討し、計画を策定します。

○主なスケジュール

2011 年 3 月	計画骨子の作成
6 月	計画原案の作成
8 月	パブリックコメント（意見募集）の実施
12 月	計画の策定

○計画策定の流れ

		基本計画	中期経営計画		
			重点政策プラン	行政経営改革プラン	中期財政見通し
2010年度		政策課題の抽出、取り組みの方向性の検討			基礎的財政推計作成
2011年度	4月	課題解決のための施策、 重点事業、目標の検討 (審議会・市民モニター・庁内検討・意識調査)			重点事業、行政経営 改革の取り組み を反映した財政推計 作成
	5月			町田市版事業仕分け	
	6月				
	7月				
	8月	パブリックコメントの実施、広報特集号配布、シンポジウム開催			
	9月	計画案の作成 (審議会・庁内検討)	計画案の作成 (庁内検討)		
	10月				
	11月				
	12月	新基本計画・新中期経営計画策定			

【主な事業費】

審議会委員報酬	1,053 千円	事業仕分け人等謝礼	1,519 千円
市民モニター謝礼	2,600 千円	事務事業見直し(事業仕分け)支援委託料	5,981 千円
住民意識ネット調査委託料	3,854 千円	財政推計策定支援委託料	1,500 千円
新中長期計画策定支援委託料	24,999 千円		
(2010～2011 年度債務負担行為 総事業費 45,000 千円)			

－町田市版事業仕分けとは？－

市が行っている事業について、外部の視点から公開の場で評価を行い、その評価を踏まえ効率的な市政運営を行うために「町田市版事業仕分け」を実施します。

前回は 2008 年 7 月 26 日、国の実施前に東京都内では初めて「事業仕分け」を実施しました。しかし「事業仕分け」は国で実施された影響もあり、目先の事業の無駄・削減・改善ばかりがクローズアップされている傾向にあります。

そこで、今回の「事業仕分け」は前回の問題点を改善した「町田市版事業仕分け」を実施します。

前 回

仕分け人：無駄の削減を要求する
誤り・欠点を指摘する
職 員：うまく伝えられない
防衛的になる
自信をなくす、やる気を失う
傍 聴 者：劇場性を期待する
公務員批判となる
傍 観 する



今 回

仕 分 け 人：市民の判定の判断材料となる情報の
引き出し役
一緒に考える、気づきを促す
やる気と知恵を引き出す
職 員：わかってもらう
改善のヒントが得られる
改革に前向きになる
傍 聴 者：何が大切で、何が問題なのかがわかる
自分の事として共感できる
判定に参加する

事業仕分け対象事業：2010 年度の包括外部監査は「施設の管理運営について」をテーマとして実施しました。この包括外部監査での指摘内容を含め、市民に身近な施設の管理運営事業について議論します。

実 施 時 期 ・ 場 所：5 月下旬予定

市 民 参 加：市民仕分け人の参加と、傍聴者（市民）としての判定をお聞きできるような方法を検討しています。



問い合わせ先

政策経営部 企画政策課長 市川

電話

724-2103

件 名	町田市保健所事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
298,893		33,522	204,799	0	35,710	24,862
【事業の背景・目的】 「健康」の視点に立った総合的かつ一体的なまちづくりを推進するため、町田市では、保健所政令市移行（町田市が保健所を設置する市として地域保健法施行令で指定されること）を中期経営計画の重点事業に位置づけ、準備を進めてきました。 2011 年 4 月、東京都の保健所業務を引き継ぎ、町田市が保健所を設置（保健企画課・生活衛生課・保健対策課の 3 課で構成）・運営します。						
【事業の内容】 ①保健企画課＝地域保健の企画調整、健康づくりに関する情報発信を担当 自殺防止、薬物乱用防止など地域保健に関する普及啓発、国民生活基礎調査などの統計調査業務、新型インフルエンザ対策、施設の管理運営などを行います。 ②生活衛生課＝営業施設にかかる許認可及び衛生監視を担当 食品の収去検査、衛生講習会の実施、事業者の自主的な衛生管理の推進、狂犬病予防・収容動物管理事務などを行います。 ③保健対策課＝感染症、難病保健、精神保健に関する相談指導を担当 未熟児などに対する医療費の助成、感染症予防の講習会、在宅難病患者に対する相談指導、ひきこもり本人及び親を対象としたグループワーク、肝炎・HIV 検査などを行います。						
【主な事業費】 <歳出> ①保健企画事務費 138,694 千円 うち 保健所広報誌作成・配布 5,400 千円 自殺防止に向けた取り組み （ゲートキーパー※養成、啓発用冊子作成・配布） 712 千円 ※ゲートキーパー：地域や職場において、自殺のサインに気づき、見守りを行い、専門相談機関へつなぐ役割を持つ人 健康づくりイベント事業（健康づくりフェア） 1,053 千円 ②生活衛生事務費 51,375 千円 うち 犬等捕獲収容事業 19,600 千円 ③保健対策事務費 107,455 千円 うち 医療費助成費【国制度】 59,482 千円 ※未熟児・障がい児及び結核患者の方を対象とした医療費助成です。 HIV・性感染症検査事業（検査委託） 4,345 千円						
<歳入> ○医療保健政策包括補助事業費（都） 153,240 千円 ◆保健所政令市移行後 5 年間（2011 年度～2015 年度）は、東京都からの財政支援があります。 ・事業費（人件費を含む）に対する補助割合 1・2 年度目＝2/3、3・4 年度目＝1/2、5 年度目＝1/3 ・動物関連及び検体検査関連事業費に対する補助割合 1～5 年度目＝10/10						
問い合わせ先	いきいき健康部 健康総務課 保健所政令市準備担当課長 西澤			電話	724-4017	

件 名	予防接種費用助成事業 ① (ヒブワクチン・小児肺炎球菌ワクチン・子宮頸がん予防ワクチン)					
	予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他 一般財源
	293,210		0	138,637	0	0 154,523

【事業の背景・目的】

ヒブワクチン・小児肺炎球菌ワクチン・子宮頸がん予防ワクチンは、ワクチン接種により発病の予防・重症化の防止効果が高く、WHOからも接種勧告がなされています。

子どもへの予防ワクチン接種については、保護者の関心も高い状態ではありますが、1回の接種につき9,000円から16,000円程度かかるため接種費用が各家庭に与える負担は大きく、接種費用の軽減を希望する市民要望が多く寄せられています。そこで、市では子どもと保護者の安心・安全を確保するため、2010年度からヒブワクチン及び子宮頸がん予防ワクチン接種について公費助成を始めました。

2011年度は、新たに小児肺炎球菌ワクチンの接種について助成を開始いたします。

なお、実施にあたっては、都の「ワクチン接種緊急促進基金(国の「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金」をもとに創設)」からの補助を活用します。

【事業の内容】

	拡充 ヒブワクチン	新規 小児肺炎球菌ワクチン	継続 子宮頸がん予防ワクチン
接種対象者	2ヶ月～4歳の乳幼児		中学2年生～高校1年生の女子
対象人数	・0歳児 約3,000人 ・1歳児 約3,500人 ・2歳～4歳児 約11,500人 ⇒合計 約18,000人		・中2 約1,900人 ・中3 約1,900人 ・高1 約1,900人 ⇒合計 約5,700人
想定接種者数	・0歳児 50%(約1,500人) ・1歳以上 30%(約4,500人) ⇒約6,000人		・中2 55%(約1,000人) ・中3 55%(約1,000人) ・高1 55%(約1,000人) ⇒約3,000人
接種回数	・2ヶ月～7ヶ月未満 4回 ・7ヶ月～12ヶ月未満 3回 ・1歳～4歳 1回	・2ヶ月～7ヶ月未満 4回 ・7ヶ月～12ヶ月未満 3回 ・1歳 2回 ・2歳～4歳 1回	・中2 2011年度中に3回 ・中3・高1 (経過措置) 2010年度接種の残り回数(1回～2回)
自己負担額	900円/回(1割負担)	1,200円/回(1割負担)	1,600円/回(1割負担)
開始時期	2011年4月から(予定)※		
実施場所	町田市内の指定医療機関		
事業費	74,095千円	112,131千円	105,708千円

※ ヒブワクチンは、2010年4月1日から助成を開始しています。(2010年度中は自己負担額3,500円～/回)

※ 子宮頸がん予防ワクチンは、2011年1月20日から助成を開始しています。(自己負担額に変更はありません)

【主な事業費】

＜歳出＞ 予防接種費(委託料及び償還払) 291,934千円
 ＜歳入＞ 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業補助金(都・補助率 1/2) 138,637千円

問い合わせ先	いきいき健康部 健康課長 八木	電話	724-5075
--------	-----------------	----	----------

件 名	予防接種費用助成事業 ② (高齢者肺炎球菌ワクチン)					
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
38,015		0	18,000	0	0	20,015

【事業の背景・目的】

肺炎球菌ワクチンは、ワクチン接種により高齢者の肺炎の原因となる病原体である肺炎球菌による感染症の重症化予防に有効であるといわれていますが、接種費用が 8,000 円程度かかり、接種費用の軽減を希望する市民要望が多く寄せられています。

そこで、市では高齢者の安心と安全を確保する点から、肺炎球菌ワクチン接種者に対する助成制度を新たに開始します。なお、実施にあたっては東京都の補助を活用します。

【事業の内容】

接種費用を1回8,000円と想定し、半額の4,000円を公費で負担します。

- | | |
|---------|-----------------------------------|
| ○接種対象者 | 65 歳以上の高齢者（約 90,000 人） |
| ○想定接種者数 | 9,000 人（接種対象者約 90,000 人の 10%を見込む） |
| ○助成額 | 1 人 1 回につき 4,000 円（接種回数は 1 回のみ） |
| ○実施時期 | 2011 年 4 月から |

【主な事業費】

＜歳出＞

- ・予防接種費(委託料及び償還払) 37,780 千円

＜歳入＞

- ・医療保健政策包括補助事業費(都・補助率 1/2) 18,000 千円



問い合わせ先	いきいき健康部 健康課長 八木	電話	724-5075
--------	-----------------	----	----------

件 名		保健医療計画改定事業												
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源								
5,977		0	2,988	0	0	2,989								
【事業の背景・目的】														
背景： 町田市保健医療計画は、1990年の策定以降、2000年に第一次改定、2007年に第二次改定を行ってきました。現計画は2007年度から2011年度までの5か年計画となっており、今回、2012年度からの5か年を想定とした計画を策定するものです。														
目的： 市は、2011年度に保健所政令市へ移行し、「健康」の視点に立った総合的かつ一体的なまちづくりを推進するため、保健衛生や健康増進、医療分野の課題と方向性を明らかにする必要があります。そこで、取り組むべき施策を具体的に明示し、積極的に施策を展開していくため、本計画を改定します。														
【事業の内容】 本計画は、2010年度に行った市民意識調査の結果などをもとに、2011年度に町田市保健医療計画推進協議会で検討を行い、その報告を踏まえて策定します。														
＜スケジュール＞ <table><tr><td>2011年 9月</td><td>改定計画素案作成</td></tr><tr><td>〃 11月</td><td>パブリックコメント</td></tr><tr><td>2012年 1月</td><td>改定計画案作成</td></tr><tr><td>〃 2月</td><td>改定計画策定</td></tr></table>							2011年 9月	改定計画素案作成	〃 11月	パブリックコメント	2012年 1月	改定計画案作成	〃 2月	改定計画策定
2011年 9月	改定計画素案作成													
〃 11月	パブリックコメント													
2012年 1月	改定計画案作成													
〃 2月	改定計画策定													
【主な事業費】														
＜歳出＞ <table><tr><td>保健医療計画推進協議会委員謝礼</td><td>677千円</td></tr><tr><td>保健医療計画改定支援業務委託料</td><td>5,300千円</td></tr></table>							保健医療計画推進協議会委員謝礼	677千円	保健医療計画改定支援業務委託料	5,300千円				
保健医療計画推進協議会委員謝礼	677千円													
保健医療計画改定支援業務委託料	5,300千円													
＜歳入＞ <table><tr><td>医療保健政策包括補助事業費（都・補助率 1/2）</td><td>2,988千円</td></tr></table>							医療保健政策包括補助事業費（都・補助率 1/2）	2,988千円						
医療保健政策包括補助事業費（都・補助率 1/2）	2,988千円													
問い合わせ先		いきいき健康部 健康課長 八木			電話	724-5075								

件 名		子ども手当支給事業				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
9,717,425		7,762,286	977,359	0	0	977,780
【事業の背景・目的】						
次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援するため、中学校修了前の子どもを対象に、子ども手当を支給します。						
【事業の内容】						
○実施主体	町田市（公務員については所属庁）					
○所得制限	なし					
○支 給 額	3 歳未満児童一人につき 月額 20,000 円(2011 年 2・3 月分は月額 13,000 円) 3 歳以上中学校修了前児童一人につき 月額 13,000 円 ※2011 年 4 月分から、3 歳未満児童の手当月額が、一人につき 13,000 円から 20,000 円に増額(予定)されます。					
○支 給 月	6 月(2～5 月分) 10 月(6 月～9 月分) 2012 年 2 月(10 月～2012 年 1 月分)					
○支給児童数	57,500 人(うち 3 歳未満 10,600 人)					
○費用負担	子ども手当の一部として児童手当法に基づく児童手当を支給する仕組みのため、小学校終了前児童は従前児童手当と同等の市負担があります。児童手当の所得制限超過者等についても、児童手当の費用負担割合が適用されるため市負担増となりますが、その補填として、別途、地方特例交付金が措置される予定です。また、所得制限超過者等による対象者増加分の事務経費についても国から交付される予定です。					
【主な事業費】						
＜歳出＞						
○子ども手当	9,712,000 千円（算式 3 歳未満 13,000 円×10,600 人× 2 ヶ月） （算式 3 歳未満 20,000 円×10,600 人×10 ヶ月） （算式 3 歳以上 13,000 円×46,900 人×12 ヶ月）					
○事 務 費	5,425 千円					
＜歳入＞						
○子ども手当負担金(国)	7,757,279 千円					
○子ども手当負担金(都)	977,359 千円					
○子ども手当事務委託金(国)	5,007 千円					
問い合わせ先	子ども生活部 子ども総務課長 田後			電話	724-2876	

件 名		待機児童解消対策事業				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
532,645		0	244,791	20,900	0	266,954
【事業の背景・目的】						
2009 年度に策定された「町田市保育サービス 3 ヶ年計画」においては、2009 年度から 2011 年度までの 3 年間で 1,180 人の保育サービス定員増を図ることとしています。これまで 2009 年度に 488 人が増員され、2010 年度には「20 年間期間限定認可保育所(改修型)」や、大蔵保育園の増改築による定員増などで 173 人の整備を計画中です。 待機児童解消対策として 2011 年度に下記①民間保育所整備支援事業(定員 452 人増)、②家庭的保育者(保育ママ)の増員(定員 20 人増)を行います。 なお、就学前の教育・保育のニーズに対応するため、③認定こども園の設置も促進します。						
【事業の内容・主な事業費】						
① 民間保育所整備支援事業 319,409 千円 （歳入 子育て支援対策事業費臨時特例補助 127,615 千円）						
町田市独自の「20 年間期間限定認可保育所」事業について、100 人規模の新築型 4 園の新設に取り組みます。 分園の新設については、2 園、補助を行います。 建設から 30 年以上経過し、老朽化が進んでいる認可保育所について、保育環境の向上と待機児童解消を目的として施設の建替えを進め、増員を図ります。既存の保育園の増改築工事及び定員増については、2 園で取り組みます。						
② 家庭的保育者の増員 116,634 千円 （歳入 家庭的保育事業費補助 59,126 千円）						
0 歳～2 歳児を対象とした事業である家庭的保育制度を有効に活用し、待機児童が多い年齢層である 1 歳児及び 2 歳児の定員対策を進めます。2011 年度は家庭的保育者を新たに 4 名、募集します。 家庭的保育者は、保育士等の一定の資格及び条件を満たし、市の認定を受けた方が、仕事等で保育ができない保護者に代わって保育をする制度です。家庭的保育者による保育は、集団保育と異なり、家庭的保育者の自宅の専用室において家庭的な雰囲気の中、子ども一人ひとりの個性やリズムに合わせた保育を行うことができるのが大きな特徴です。						
		家庭的保育者		定員		
		既存家庭的保育者 6 名		24 人		
		2010 年度募集分 10 名		50 人		
		2011 年度募集分 4 名		※ 20 人		
		合計		94 人		
③ 認定こども園 96,602 千円						
（歳入 子ども家庭支援包括補助 19,500 千円						
認定こども園運営費補助 38,550 千円 ）						
※2011 年度募集分は、8 月から保育実施予定。						
「幼稚園単独型・認定こども園」について、設置を促進し、就学前の教育・保育のニーズに対応する選択肢を拡大します。2010 年度までに認定こども園 8 園を整備しました。2011 年度は幼稚園単独型・認定こども園を新たに 3 園、募集します。 認定こども園とは、幼稚園、保育園等のうち、「就学前の子どもを、保護者の就労の有無にかかわらず受け入れ、幼児教育・保育を一体的に提供する」機能と、「地域における子育て支援を行う」機能を兼ね備え、都道府県知事の認定を受けた施設のことをいいます。						
問い合わせ先	子ども生活部 子育て支援課長 稲田			電話	724-2138	

件 名		公立保育園再編事業				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
12,048		0	0	0	0	12,048

【事業の背景・目的】

2010 年度に策定した中期経営計画・行政経営改革プランに基づく「（仮称）地域子育て相談センターの機能充実と公立保育園運営の最適化」において、2012 年度に向けて「わかば保育園」・「森野三丁目保育園」の民設化、2014 年度に向けて公立保育園 5 園に併設する「（仮称）地域子育て相談センター」の機能充実及び「森野保育園」・「本町田保育園」の民設民営化を計画しています。

また、山崎保育園は築 39 年を経過し老朽化していることから、増改築事業を 2011 年度から 2013 年度の 3 か年で実施します。

【事業の内容・主な事業費】

①山崎保育園増改築事業を実施します。2011 年度から 2012 年度に設計、2012 年度から 2013 年度に改築工事を行い、2014 年 4 月から定員増(100 名→120 名)を図ります。

②子ども家庭支援センターが 2012 年度に森野三丁目保育園 2 階から市役所新庁舎に移転するため、森野三丁目保育園 2 階部分の改修を実施します。2011 年度に設計、2012 年度に改修工事を行い、2013 年 4 月からの定員増(40 名→66 名)を図ります。

③民設民営化 2 園(森野保育園・本町田保育園)の事業者選定を行います。

＜公立保育園の施設整備スケジュール＞

施 設 名	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度
山崎保育園	設計	増改築工事		新園舎稼動
森野三丁目保育園	設計	民設化 2 階改修工事	定員増	
わかば保育園		民設化 (法人)設計・増改築工事費補助		
森野保育園	事業者選定	設計	改修工事	民設民営化
本町田保育園	事業者選定	設計	改修工事	民設民営化

＜2011 年度主な事業費＞

山崎保育園実施設計委託料 6,833 千円
(2011～2012 年度債務負担行為事業 総事業費 22,776 千円)

山崎保育園地質調査業務委託料 2,940 千円
森野三丁目保育園改修設計委託料 2,200 千円

問い合わせ先	子ども生活部 子育て支援課長 稲田	電話	724-2138
--------	-------------------	----	----------

件 名	子どもセンター整備事業					
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
24,268		0	0	0	0	24,268
【事業の背景・目的】 児童を取り巻く環境は、都市化、核家族化、女性の就労の増加等大きく変化しています。またさらに遊び場の不足、交通事故の増加、治安の悪化等、地域における児童を育成する上で憂慮すべき状況が進んでいるため、青少年健全育成の拠点となる施設の整備が強く求められています。 このため市は、「子どもの遊びの拠点」、「成長・発達の拠点」、「地域の子育ての拠点」として子どもセンターを市内5地区に整備することとしており、2009年度までに、ばあん(南地区)、つるっこ(鶴川地区)、ぱお(堺地区)の3か所を整備しました。						
【事業の内容】 ○ 忠生地区子どもセンターの実施設計 2009年度に、忠生地区の子どもに関する活動をされている地域の皆さんの協力をいただき、忠生地区にはどのような子どもセンターを整備したらよいか検討し、基本構想をまとめました。 2010年度は、その構想を参考に地域の方々の意見を取り入れた子どもセンターとするため、大人・子どもを対象としたワークショップ等を催し基本設計を行いました。 2011年度は、この基本設計を基に実施設計を行います。 ・事業時期、期間 2011年度 実施設計 2012・2013年度 工事予定 ・建設場所 忠生市営住宅跡地(忠生地区交番隣) ・事業の対象者 0歳から18歳の子ども、乳幼児の保護者 ・事業の規模 (敷地面積) 1,698㎡ ・実施方法 原則として市の直営 ただし運営については、地域の皆さんと協働しての手法を検討します。 ○ 町田地区子どもセンターの基本構想作成 町田地区に子どもセンターを整備するため、地域の皆さんに協力いただき町田地区にはどのような子どもセンターを整備したらよいか、基本構想を策定します。 ・事業時期、期間 2011年度 基本構想						
【主な事業費】 ○ 忠生地区子どもセンター ・実施設計委託料 21,000千円 ・用地草刈委託料 268千円 ○ 町田地区子どもセンター ・基本構想作成支援委託料 3,000千円						
問い合わせ先	子ども生活部 児童青少年課長 能條			電話	724-2182	

件 名	小中一貫校整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
384,801		80,377	0	181,100	85,000	38,324

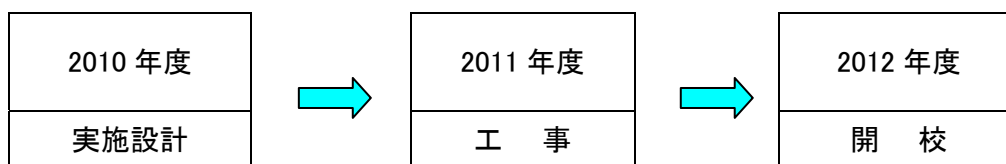
【事業の背景・目的】

1998 年の「町田市立学校の適正規模適正配置等について（答申）」に基づく大戸小学校と武蔵岡中学校の合同校舎型小中一貫校の整備事業で、市内で唯一の合同校舎型の小中一貫校となります。

この整備により、9 年間の継続的な指導を行ない、基礎学力の向上を図るとともに、きめ細やかな特色ある教育活動を展開します。また、大学連携、地域共同の学校づくりを大きな柱として、児童生徒が豊かな自然環境の中で健康的で快適な学校生活を送ることができるよう取り組みます。

【事業の内容】

〔スケジュール〕



〔主な工事内容〕

普通教室及び特別教室の改修、外壁改修、トイレ改修、空調機設置、屋上防水など、大戸小学校を中心に改修工事を行います。

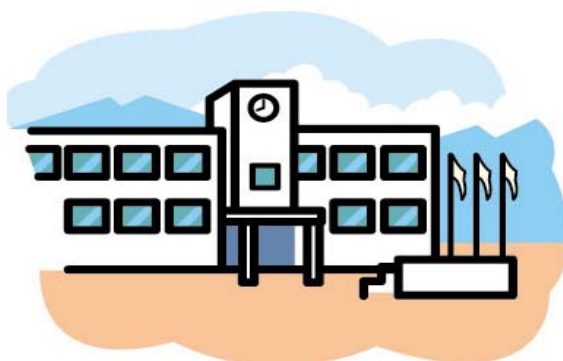
【主な事業費】

<歳出>

・工事監理業務委託	14,000 千円
・校舎整備工事	363,484 千円

<歳入>

・安全・安心な学校づくり交付金（国・補助率 2/7）	80,377 千円
・公共施設整備等基金	85,000 千円



問い合わせ先	学校教育部 施設課長 佐藤	電話	724-2948
--------	---------------	----	----------

件 名		小山中学校新設事業												
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源								
2,082,152		443,911	319,600	899,500	0	419,141								
【事業の背景・目的】														
相原・小山地区での生徒増による堺中学校の大規模化を解消するため、新たに小山中学校を新設します。小山中学校は、地上 5 階建てで、屋上にプールを配し、体育館、武道場、多目的室等を設けたものとなります。														
【事業の内容】														
〔規 模〕 敷地面積 約 26,149 m ² 総延床面積 約 11,832 m ²														
〔構 造〕 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上 5 階建(主要出入口は 3 階部分)														
〔主な内容〕 ・普通教室 24 教室 ・特別教室 図書室、コンピュータ室、第 1・第 2 理科室、第 1・第 2 家庭科室、第 1・第 2 美術室、第 1・第 2 音楽室、第 1・第 2 技術室、学習室 ・特別支援教室 普通教室 4 教室分 ・体育館 ・武道場 ・屋外プール(25m×13m) ・その他 校長室、職員室、保健室、多目的室、みんなのトイレ、エレベータ 1 基、災害備蓄倉庫、屋外便所等														
〔環境対策〕 太陽光発電、屋上緑化、雨水利用														
〔スケジュール〕														
<table><tr><td>2010 年度</td><td rowspan="2">➡</td><td>2011 年度</td><td rowspan="2">➡</td><td>2012 年度</td></tr><tr><td>着工(1 年度目工事)</td><td>2 年度目工事</td><td>開 校</td></tr></table>							2010 年度	➡	2011 年度	➡	2012 年度	着工(1 年度目工事)	2 年度目工事	開 校
2010 年度	➡	2011 年度	➡	2012 年度										
着工(1 年度目工事)		2 年度目工事		開 校										
〔2 年度目工事の主な内容〕														
・本体工事(2 年度目) ・校庭整地工事(2011～2012 年度債務負担行為)														
【主な事業費】														
＜歳出＞														
○工事監理業務委託 39,100 千円														
○工事費 本体工事(2 年度目) 1,875,392 千円														
○初度調弁(備品等の整備) 165,450 千円														
＜歳入＞														
○学校施設整備費負担金(国) 367,893 千円														
○市町村総合交付金(都) 319,600 千円														
問い合わせ先	学校教育部 施設課長 佐藤			電話	724-2948									

件 名		小中学校空調機設置事業																																					
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源																																	
631,000		65,000	132,000	249,700	65,000	119,300																																	
【事業の背景・目的】 昨年の猛暑は、学校の各教室内の室温が高温になるなど、児童・生徒の健康や授業への影響が大変懸念されました。 児童・生徒が一日の大半を過ごす学校を快適な環境に整え、教育環境の充実を図るため、普通教室に順次空調機の設置を行います。 【事業の内容】 2010 年度から 2013 年度で全ての小・中学校の普通教室に空調機の整備を行い、一年を通して快適な教育環境で学習することが出来るようにします。 2011 年度は中学校の工事と同時に小学校の設計を行い、2012 年度、2013 年度に小学校の工事を行っていく計画です。 工事については、二学期始業から使用可能になるように夏休み明けまでに完成させる予定です。 <table><tr><td>2011 年度</td><td rowspan="2">⇒</td><td>2012 年度・2013 年度</td></tr><tr><td>中学校設計 中学校工事(15 校) 小学校設計</td><td>小学校工事 (2012 年度 18 校) (2013 年度 17 校)</td></tr></table> <tr><td colspan="7"> 【主な事業費】 <歳出> <table><tr><td>・中学校普通教室等空調機設置工事設計業務委託</td><td>21,000 千円</td></tr><tr><td colspan="2">(2010-2011 年度債務負担行為事業 総事業費 30,000 千円)</td></tr><tr><td>・中学校普通教室等空調機設置工事</td><td>530,000 千円</td></tr><tr><td>・小学校普通教室等空調機設置工事設計業務委託</td><td>60,000 千円</td></tr></table> <歳入> <table><tr><td>・安全・安心な学校づくり交付金(国)</td><td>65,000 千円</td></tr><tr><td>・公立小中学校冷房設備設置促進事業費補助(都)</td><td>132,000 千円</td></tr><tr><td>・公共施設整備等基金</td><td>65,000 千円</td></tr></table></td></tr> <tr><td colspan="2">問い合わせ先</td><td colspan="2">学校教育部 施設課長 佐藤</td><td>電話</td><td colspan="2">724-2948</td></tr>							2011 年度	⇒	2012 年度・2013 年度	中学校設計 中学校工事(15 校) 小学校設計	小学校工事 (2012 年度 18 校) (2013 年度 17 校)	【主な事業費】 <歳出> <table><tr><td>・中学校普通教室等空調機設置工事設計業務委託</td><td>21,000 千円</td></tr><tr><td colspan="2">(2010-2011 年度債務負担行為事業 総事業費 30,000 千円)</td></tr><tr><td>・中学校普通教室等空調機設置工事</td><td>530,000 千円</td></tr><tr><td>・小学校普通教室等空調機設置工事設計業務委託</td><td>60,000 千円</td></tr></table> <歳入> <table><tr><td>・安全・安心な学校づくり交付金(国)</td><td>65,000 千円</td></tr><tr><td>・公立小中学校冷房設備設置促進事業費補助(都)</td><td>132,000 千円</td></tr><tr><td>・公共施設整備等基金</td><td>65,000 千円</td></tr></table>							・中学校普通教室等空調機設置工事設計業務委託	21,000 千円	(2010-2011 年度債務負担行為事業 総事業費 30,000 千円)		・中学校普通教室等空調機設置工事	530,000 千円	・小学校普通教室等空調機設置工事設計業務委託	60,000 千円	・安全・安心な学校づくり交付金(国)	65,000 千円	・公立小中学校冷房設備設置促進事業費補助(都)	132,000 千円	・公共施設整備等基金	65,000 千円	問い合わせ先		学校教育部 施設課長 佐藤		電話	724-2948	
2011 年度	⇒	2012 年度・2013 年度																																					
中学校設計 中学校工事(15 校) 小学校設計		小学校工事 (2012 年度 18 校) (2013 年度 17 校)																																					
【主な事業費】 <歳出> <table><tr><td>・中学校普通教室等空調機設置工事設計業務委託</td><td>21,000 千円</td></tr><tr><td colspan="2">(2010-2011 年度債務負担行為事業 総事業費 30,000 千円)</td></tr><tr><td>・中学校普通教室等空調機設置工事</td><td>530,000 千円</td></tr><tr><td>・小学校普通教室等空調機設置工事設計業務委託</td><td>60,000 千円</td></tr></table> <歳入> <table><tr><td>・安全・安心な学校づくり交付金(国)</td><td>65,000 千円</td></tr><tr><td>・公立小中学校冷房設備設置促進事業費補助(都)</td><td>132,000 千円</td></tr><tr><td>・公共施設整備等基金</td><td>65,000 千円</td></tr></table>							・中学校普通教室等空調機設置工事設計業務委託	21,000 千円	(2010-2011 年度債務負担行為事業 総事業費 30,000 千円)		・中学校普通教室等空調機設置工事	530,000 千円	・小学校普通教室等空調機設置工事設計業務委託	60,000 千円	・安全・安心な学校づくり交付金(国)	65,000 千円	・公立小中学校冷房設備設置促進事業費補助(都)	132,000 千円	・公共施設整備等基金	65,000 千円																			
・中学校普通教室等空調機設置工事設計業務委託	21,000 千円																																						
(2010-2011 年度債務負担行為事業 総事業費 30,000 千円)																																							
・中学校普通教室等空調機設置工事	530,000 千円																																						
・小学校普通教室等空調機設置工事設計業務委託	60,000 千円																																						
・安全・安心な学校づくり交付金(国)	65,000 千円																																						
・公立小中学校冷房設備設置促進事業費補助(都)	132,000 千円																																						
・公共施設整備等基金	65,000 千円																																						
問い合わせ先		学校教育部 施設課長 佐藤		電話	724-2948																																		

31

件 名	介護人材開発事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
10,312		0	4,000	0	0	6,312

【事業の背景・目的】

町田市において特別養護老人ホームや地域密着型サービス事業の整備を進める中で、各施設や事業者に必要となる介護人材を総合的に確保、育成することが求められています。町田市内において介護人材育成のノウハウを蓄積し、介護サービス従事者の資質の向上を図ります。

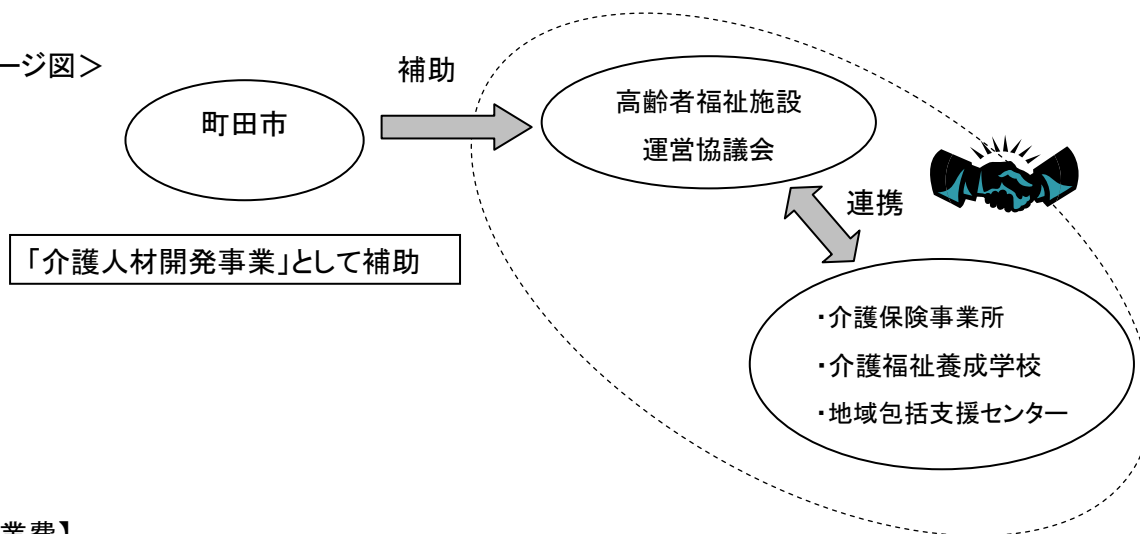
【事業の内容】

町田市高齢者福祉施設運営協議会のネットワークやノウハウを活用した介護人材の育成及び雇用確保の活動に対して補助を行います。

機能

- ①介護従事者のスキルアップ(各種研修)
- ②新規介護従事者の開拓(研修・講演会等)
- ③事業者と介護従事希望者のマッチング(就職説明会の開催等)
- ④市内介護事業者と介護福祉養成学校等とのネットワーク構築

<イメージ図>



【主な事業費】

<歳出>

事業内容	事業費
介護過程基礎講座	1,493 千円
高齢者福祉研究大会アクティブ福祉in町田	2,038 千円
地域包括支援センター職員研修	1,495 千円

<歳入>

高齢社会対策包括補助事業費(都) 4,000 千円

問い合わせ先	いきいき健康部 高齢者福祉課長 堀場	電話	724-4048
--------	--------------------	----	----------

件 名	あんしん相談室事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
13,084		4,632	3,726	0	0	4,726

【事業の背景・目的】

市では、境川団地をモデル地区として、高齢者見守り支援ネットワーク事業を実施しております。

この事業では、2009 年度から、地域包括支援センターがサポートしながら地域の町内会・自治会や民生委員が中心となり、チラシの全戸配布や階段踊り場のポスター掲示により住民へネットワーク参加を呼びかけ、「さりげない見守り」活動が行われております。この活動を通して、住民の間にも見守りの意識が定着してきています。さらに 2010 年度からは、定期的に声掛けをするなどの「積極的な見守り」活動も始まっています。

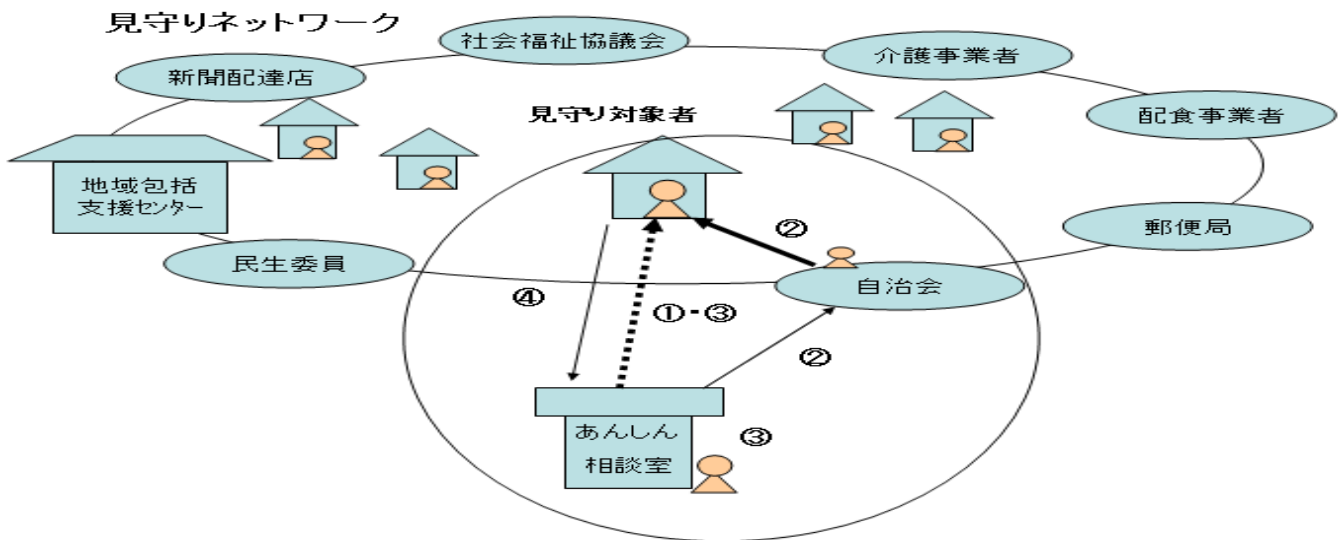
今後は、特に、個別の見守りが必要な方について、緊急通報システムを活用しながら、直接的な見守りを行うとともに、地域の見守り活動を支え、地域ネットワークづくりを推進する役割を担う相談員を配置した「あんしん相談室」を設置し、孤立化問題の解消と、高齢者が安全・安心に暮らすことのできる地域づくりをめざすものです。

【事業の内容】

2 か所(境川団地、藤の台団地)に「あんしん相談室」を設置します。

- | | |
|----|---|
| 機能 | <ul style="list-style-type: none"> ①在宅高齢者の生活実態の把握、見守り ②地域の組織・住民と連携した高齢者見守りの実施 ③緊急通報システムを活用して 24 時間 365 日の安心を提供 ④高齢者等からの相談窓口 |
|----|---|

<イメージ図>



【主な事業費】

<歳出>	あんしん相談室事業委託料	13,084 千円
<歳入>	社会資本整備交付金(国)	4,632 千円
	シルバー交番設置事業費補助(都)	3,726 千円

問い合わせ先	いきいき健康部 高齢者福祉課 地域支援担当課長 西原	電話	720-4048
--------	-------------------------------	----	----------

件 名	特別養護老人ホーム整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
325,320		0	160,000	0	0	165,320

【事業の背景・目的】

市は「中期経営計画」及び「町田市高齢社会総合計画（第４次改定）」に基づき、高齢者が住み慣れた自宅や地域で生活するための支援を行う一方で、さまざまなサービスを利用しても、自宅で生活することが困難な方のために特別養護老人ホームの整備を積極的に進めています。

当事業の実施により、特別養護老人ホーム入所待機者の解消を図っていきます。

現 状	要介護３以上の待機者 998 人（2010 年 10 月 1 日時点）
目 標	2011 年度末での要介護３以上の待機者 100 人
計画整備数	2009 年度から 2011 年度末までに 644 床開設

【事業の内容】

整備予定：６施設 614 床

2010 年度開設 ２施設 144 床、2011 年度開設予定 ４施設 470 床

（配置図は次ページのとおりに）

- ①整備にあたって、市独自で建設費補助及び借入金元金に対する償還金補助を行います。（事業者に対してはこの他に、東京都からの施設整備費補助があります。）

市補助額：１床あたり 600 万円（うち 建設費補助 300 万円、償還金補助 300 万円）

- ②整備予定のうち１か所は、市有地を無償で法人に貸与します（建設費等の補助は行いません）。

【主な事業費】

<歳出>

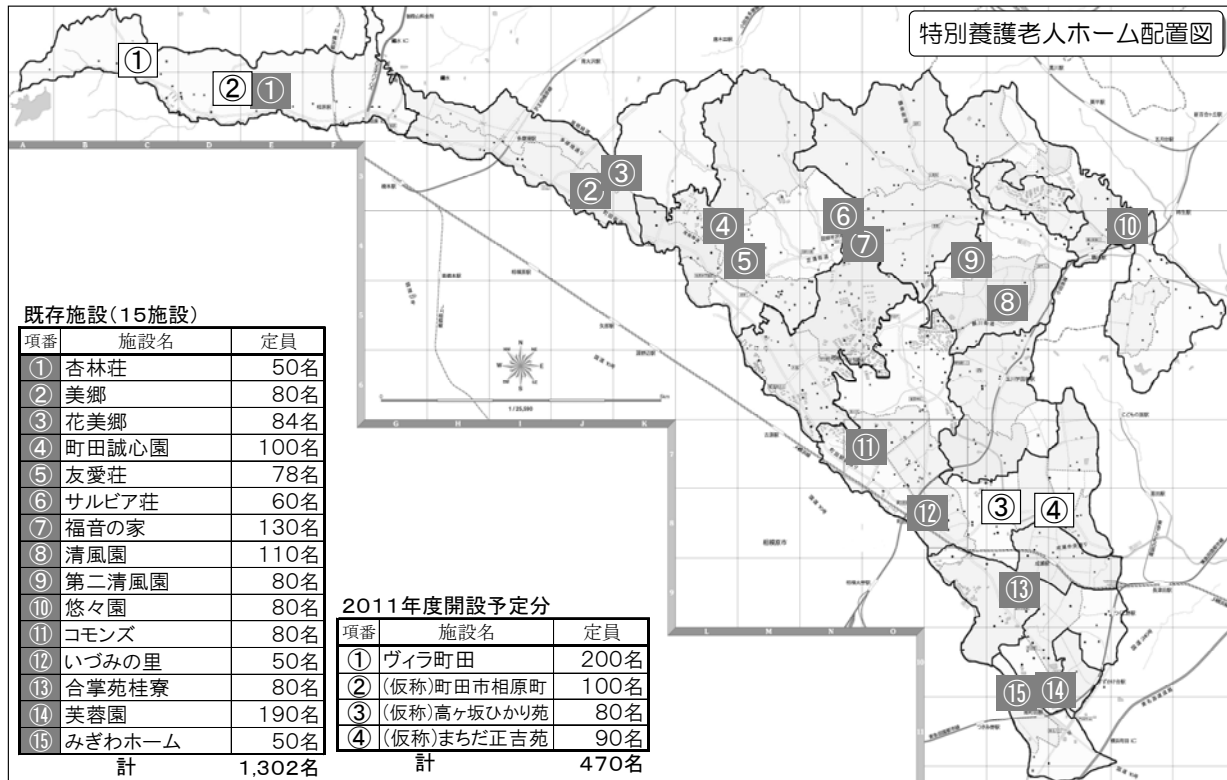
法人名 〔施設名〕	計画地	計画数	補 助 額 等
（社福）みどり福祉会 〔（仮称）高ヶ坂ひかり苑〕	高ヶ坂	80 床	（建設費補助）２年目/２ヵ年 3,000 千円 × 80 床 × 出来高 85% = 204,000 千円 （償還補助） 2010～2030 年債務負担行為事業 1,320 千円
（社福）天寿園会 〔（仮称）町田市相原町〕	相原町	100 床	（建設費補助）１年目/２ヵ年 3,000 千円 × 100 床 × 出来高 40% = 120,000 千円
（社福）平成記念会 〔ヴィラ町田〕	相原町	200 床	2010 年度整備終了（７月開設予定） （2011 年度の補助金無し）
（社福）正吉福祉会 〔（仮称）まちだ正吉苑〕	成瀬	90 床	市有地無償貸与 （補助金無し）
計		470 床	325,320 千円

〔債務負担行為事業〕

（社福）みどり福祉会	2010～2030 年度	総事業費	480,000 千円
（社福）天寿園会	2010～2031 年度	〃	600,000 千円
（社福）平成記念会	2009～2030 年度	〃	600,000 千円

<歳入> 東京都市町村総合交付金 160,000 千円

特別養護老人ホーム配置図（既存施設と開設予定施設）



※ 既存施設には、2011年3月1日開設予定の『③花美郷』の増床分(44床)を含む。

問い合わせ先

いきいき健康部 高齢者課長 堀場

電話

724-4048

件 名	高齢社会総合計画改定事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
7,230		0	0	0	0	7,230

【事業の背景・目的】

高齢社会総合計画は、老人福祉法第20条の8に基づく老人福祉計画と介護保険法第117条に基づく介護保険事業計画を一体的に策定する法定計画です。介護保険事業計画は3年ごとに計画を定めることが義務づけられています。

今回の改定では、将来の高齢者のあるべき姿を見据えて、町田市の高齢者福祉施策の基本的な考え方を示し、2012年度から2014年度までの取り組みを具体化するとともに、町田市介護保険事業の安定的な運営を図るための総合的な計画を策定します。

【事業の内容】

本計画は、市民意識調査の結果などをもとに、町田市高齢社会総合計画審議会で検討を行い、その答申を踏まえて策定します。

＜市民意識調査＞

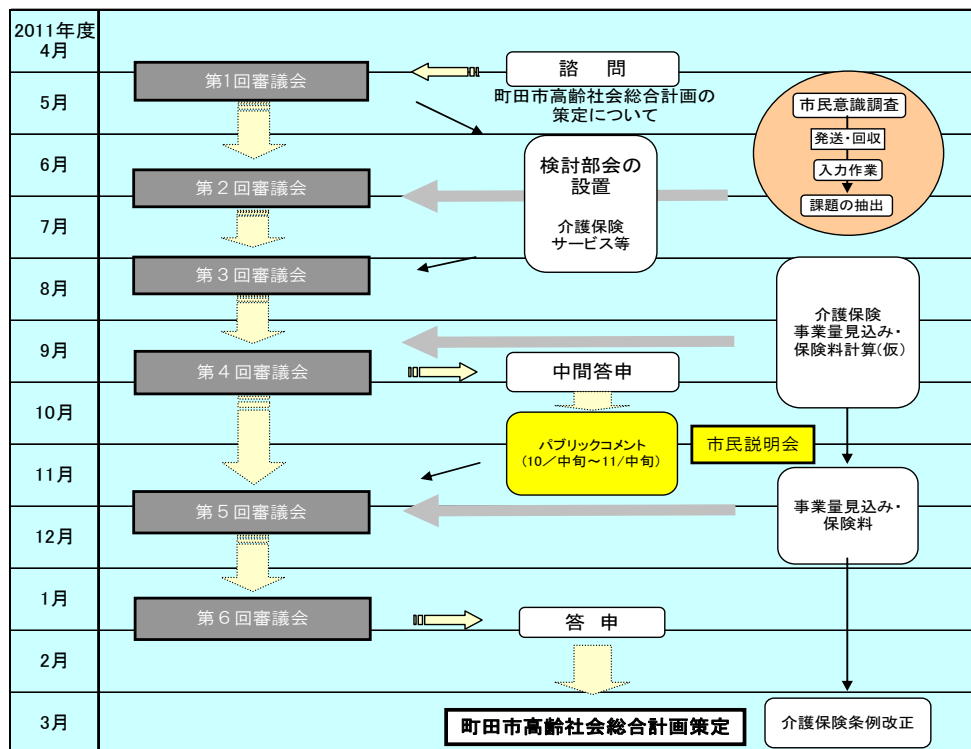
対 象 市民4,000人(予定) 一般高齢者 2,000人、介護保険サービス利用者 2,000人

調査内容 ①国が示す日常生活圏域ニーズ調査

②町田市の独自調査

(主な介護者、介護の問題点、今後のサービスの利用意向や期待すること等)

＜計画改定スケジュール＞



【主な事業費】

・高齢社会総合計画改定支援委託料 7,230 千円

問い合わせ先	いきいき健康部 高齢者福祉課長 堀場	電話	724-4048
--------	--------------------	----	----------

件 名	障がい者雇用特例子会社設立支援事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
3,000		0	1,500	0	0	1,500

【事業の背景・目的】

2008 年秋のリーマンショックを契機とした景気の低迷により雇用情勢が悪化し、リーマンショック以前に 1.30 を超えていた東京都内の有効求人倍率が 2010 年 8 月には 0.67 にまで落ちてきています。

また、障がい者の雇用状況については、2009 年、2010 年の数値（6 月 1 日時点）において、東京都内の実雇用率が伸びているにもかかわらず、町田市内では微減となっています。

（東京都：1.56%→1.63% 町田市：1.44%→1.39%）

市は、就労・生活支援センターを 2004 年に開設し、障がい者本人の就労支援を中心として障がい者の就労支援策を実施してきました。2009 年度には、就労・生活支援センターの支援により、44 人の障がい者が就労しています。しかし、町田市内の企業に就労した障がい者は、44 人のうち、15 人に過ぎません。

このような雇用情勢の悪化により、今後は、障がい者本人への就労支援だけでは、雇用に結びつけることが困難となります。

そこで、市では、障がい者の就労環境拡大策の一環として、特例子会社の設立準備経費の一部を助成する制度を創設することにより、市内に特例子会社を誘致し、市内における障がい者の雇用機会の拡大を図るものです。

【事業の内容】

＜対 象＞市内に特例子会社を開設しようとする事業者

＜内 容＞上限を 3,000 千円として、開設準備経費の一部を補助

特例子会社とは

障害者雇用促進法では、障がい者の雇用機会の確保が個々の事業主ごとに義務付けられており、法定雇用率（1.8%）が未達成の事業主には、障害者雇用納付金が課されることとなります。

そこで、事業主（親会社）が、障がい者の雇用に特別の配慮をした子会社を設立し、厚生労働大臣の認可を受けた場合に、子会社に雇用されている労働者を親会社に雇用されているものとみなすことができ、事業主全体として障害者雇用率の達成や納付金の減額などの効果が期待できます。このような子会社を特例子会社といいます。

【主な事業費】

$3,000 \text{ 千円} \times 1 \text{ 事業者} = 3,000 \text{ 千円}$

なお、東京都の補助制度を活用の予定。「障がい者施策推進包括補助事業費補助」（補助率 1/2）（参考）

東京都が 2008 年度から実施している特例子会社設立支援事業助成金制度は、2010 年度で終了する予定です。

問い合わせ先	地域福祉部 障がい福祉課長 吉田	電話	724-2136
--------	------------------	----	----------

件 名	防災センター整備事業					
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
8,500		0	0	0	0	8,500
【事業の背景・目的】						
災害時に迅速に対応できる防災・災害復興拠点として、2012 年に開庁する新庁舎の 3 階に防災センターの整備を行います。						
防災センターには、主に以下の機能を整備します。						
名 称		機 能				
災害対策本部室		災害対策本部を設置し、市内の災害状況の把握、災害対策の決定を行う。				
情報司令室		災害時に警察、消防、自衛隊の連絡員が常駐し、各機関との連携を行う。				
消防団本部室		災害時に消防団本部が各分団の消防活動に対する指揮を行う。				
無線室		防災行政無線、アマチュア無線の運用を行い、市内の災害状況の収集を行う。				
なお、平常時には市民の皆様への防災情報の提供や、防災研修の場等としても活用していく予定です。						
【事業の内容】						
近年災害に遭った自治体の経験や先進的な自治体の事例を参考として、町田市の防災センターのあり方を検討し、防災センターに必要な設備の整備計画と、効果的に運用していくためのマニュアルを作成します。						
1. 防災・災害対応業務の分析		災害対策本部室イメージ 				
2. 防災センター運用のあり方の検討						
3. 設備・資機材整備計画の策定						
4. 防災センター運用マニュアルの策定						
【主な事業費】						
防災センター整備計画・運用マニュアル作成支援委託料		8,500 千円				
問い合わせ先	市民部 防災安全課長 須崎			電話	724-3075	

件 名	鶴川駅前公共施設整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,223,814		89,584	72,369	757,000	0	304,861

【事業の背景・目的】

鶴川駅北土地地区画整理事業の完了に伴い、同土地地区画整理地内の市有地に、「芸術・文化の創造活動や生涯学習を促進する交流拠点」として、ホール・図書館・コミュニティ機能を持つ「（仮称）鶴川駅前公共施設」を建設します。

【事業の内容】

事業地	能ヶ谷 1-2
敷地面積	2,060 ㎡
建築面積	1,627 ㎡
延床面積	5,979 ㎡（駐車場を含む） ※駐輪場は含まない
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 地下 2 階・地上 4 階
主な機能	ホール（300 席）・図書館（蔵書数 約 90,000 冊）・ 行政窓口（駅前連絡所）・市民活動スペース・多目的スペース・会議室
竣工予定	2012 年 5 月

<2011 年度の事業の内容>

建設工事の 2 年度目工事を行います。

また、設置条例を定め、開館後の管理運営に向けて、指定管理者を選定します。

さらに開館記念事業の準備を進めます。

図書館は、蔵書の購入を進めます。

【主な事業費及び財源内訳】

○鶴川駅前公共施設建設工事費（2010～2012 年度債務負担行為事業）

単位：千円

年 度		2010 年度	2011 年度	2012 年度	合 計
事業費		443,443	1,152,074	1,008,129	2,603,646
財 源 内 訳	国庫支出金 (社会資本整備総合交付金)	85,050	89,584	80,286	254,920
	都支出金 (東京都市町村総合交付金)	0	60,000	60,000	120,000
	市債	244,000	757,000	689,000	1,690,000
	一般財源	114,393	245,490	178,843	538,726

○開館準備委託料 24,890 千円

○図書購入費 26,500 千円

○図書資料整備委託料 12,369 千円〔東京都緊急雇用創出事業（補助率 10/10）〕

問い合わせ先	文化スポーツ振興部 文化振興課長 落合	電話	724-2184
--------	---------------------	----	----------

件 名		生涯学習センター設置事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
13,782		0	0	0	0	13,782

【事業の背景・目的】

町田市教育委員会では、2008 年度に策定した「町田市教育プラン」において、「生涯学習推進」のための具体的な方向性を示しました。

さらに、同プランに基づき、生涯学習センターのあり方に関する町田市社会教育委員の会議からの答申を受けて、生涯学習を推進するため、①生涯学習を体系的に提供するための全体計画立案機能②関係機関との総合調整機能③情報集約・発信機能④学習相談機能の4つの機能が必要であり、これら4つの機能を一括して担える、市の生涯学習の拠点となる組織を構築します。

【事業の内容】

2012 年 4 月、公民館及びまちだ市民大学HATS並びに生涯学習課の一部を総合化して、（仮）生涯学習センターを現中央公民館に設置します。

「（仮）生涯学習センター」とは「広域的かつ総合的に地域の生涯学習活動をコーディネートする機能を持った施設」として、文字通り市民の生涯学習の中心となる施設です。

同センターは、町田市が市民に提供している生涯学習の機会・場について整理・体系化を行い、実施計画を策定・推進します。計画の推進にあたっては庁内外の関係機関との調整を行う「生涯学習分野における市の玄関」としての役割を果たします。

また、情報集約及び情報発信の拠点として各学習内容の情報発信の一本化を行い、市民の方にわかりやすい学習情報の提供を行っていくとともに、集約した情報をデータベースとして活かし、市民の方の学習相談に対応する仕組みを構築します。



5 月 成瀬尾根
シダ植物の観察



【主な事業費】

嘱託職員報酬(2 人分)	5,191 千円
役務費(市民大学引越費用)	361 千円
公民館改修費	7,126 千円

問い合わせ先	生涯学習部 生涯学習課長 古木	電話	724-2181
--------	-----------------	----	----------

件 名	市民センター・地域センター建替事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
38,434		0	0	0	0	38,434

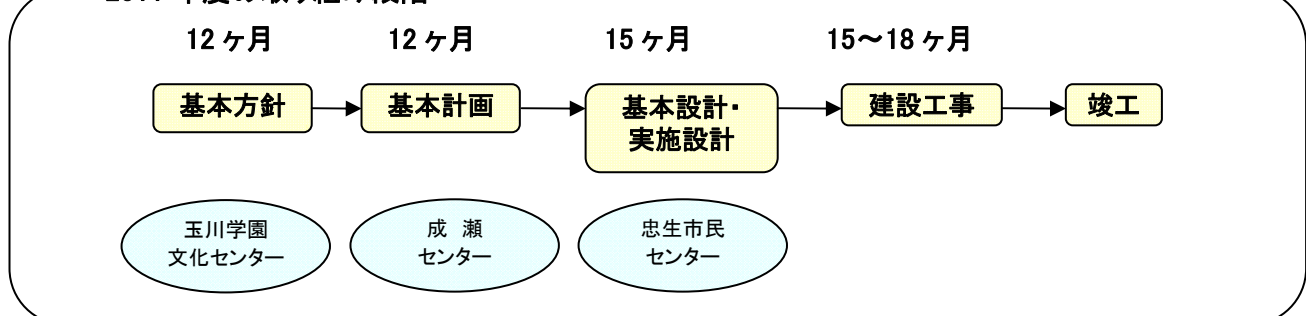
【事業の背景・目的】

老朽化した施設の建替えにあたり、より一層使いやすい施設とするために、施設のあり方について市民とともに検討を進め、建替を行っていきます。

【事業の内容】

施設名	忠生市民センター	成瀬センター	玉川学園文化センター
開設年	1977(S52)年度	1979(S54)年度	1974(S49)年度
所在地	忠生 3-14-2	成瀬 2144-1	玉川学園 2-19-12
現施設の 主な機能	○支所業務 ○図書室 ○貸出施設 ホール 会議室(3室) 和室 料理講習室	○貸出施設 ホール 会議室(3室) 和室(2室) 多目的室 小会議室 スポーツ室 グラウンド ○地域文庫	○支所業務 ○児童図書室 ○貸出施設 ホール 会議室(3室) 和室 いこいの間
2011 年度 事業概要	○基本設計・実施設計 (1年目/2ヵ年設計)	○「成瀬センター建替検討委員会」設置 ○「成瀬センター建替市民ワークショップ」開催 ○基本計画策定	○基本方針策定

2011 年度の取り組み段階



【主な事業費】

○忠生市民センター

- ・基本設計・実施設計委託 23,220 千円 (2011～2012 年度債務負担行為事業)
- ・地質調査委託 4,500 千円
- ・土地鑑定委託 719 千円

○成瀬センター

- ・基本計画策定支援委託 4,222 千円

○玉川学園文化センター

- ・基本方針策定支援委託 2,687 千円
- ・用地測量委託 3,036 千円

問い合わせ先	市民部 市民総務課長 田中	電話	720-1840
--------	---------------	----	----------

件 名		第 68 回 国民体育大会開催準備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
94,883		0	13,369	12,000	53,475	16,039
【事業の背景・目的】 2013 年に第 68 回国民体育大会が東京都で開催されることになり、町田市では 4 種目（バドミントン、バレーボール、サッカー、軟式野球）の競技会を開催します。国体開催は、生涯スポーツ社会の実現や活力ある地域づくりを進めるうえで意義深いものであり、「スポーツのまち・町田」を全国に発信する絶好の機会です。また、大会を成功させるための様々な取組みを市民と一体となって行うことで、「市民との協働によるまちづくり」を推進します。 バドミントン(全種別)とバレーボール(少年男子・少年女子)の会場となっている総合体育館を、実施競技の施設基準に合致させるために整備します。  スポーツ祭東京 2013※ マスコットキャラクター 「ゆりーと」 ※「第 68 回国民体育大会」と「第 13 回全国障害者スポーツ大会」を一つの祭典として開催するスポーツの大会						
【事業の内容】 事業主体である「スポーツ祭東京 2013 町田市実行委員会」に負担金を交付します。実行委員会には、常任委員会と4つの専門委員会があり、各種基本方針・基本計画の策定、広報啓発活動の実施及び市民運動の検討・推進などを行います。 スポーツ施設の整備は、総合体育館メインアリーナの照明が現在の設備では照度不足のため、必要照度の確保とフロア全体の明るさを均一にするために照明設備を改修します。 また、メインアリーナ床面が劣化しているため、床の張替えと新たなコートラインの設置を行います。これらの工期は 2012 年 1 月下旬から 3 月末までを予定しています。 なお、改修工事は、スポーツ振興くじ(toto)の助成対象となるとともに、第 68 回国民体育大会の対応のための改修工事であるので、東京都からの補助も受けられます。						
【主な事業費】 <歳出> ○東京国体準備事務負担金(実行委員会への交付) 11,000 千円 ○総合体育館メインアリーナ床面張替え改修工事 59,749 千円 ○総合体育館照明設備改修工事 20,464 千円 ○工事監理委託料 1,440 千円 <歳入> ○スポーツ振興くじ助成金 53,475 千円 (改修工事費の 2/3) ○国民体育大会競技施設整備費補助金(都) 13,369 千円 (スポーツ振興くじ助成後の 1/2)  総合体育館メインアリーナ						
問い合わせ先	文化スポーツ振興部 スポーツ振興課長 笠原			電話	724-4036	

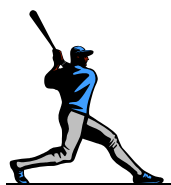
件 名	小野路公園野球場整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
191,224		0	12,585	27,000	80,000	71,639

【事業の背景・目的】

「スポーツのまち町田」を広くアピールするために、2012 年度開催の全国高校野球選手権大会西東京大会及び第 68 回国民体育大会の軟式野球競技の 2013 年度開催に向けて外構及び周辺整備工を行います。

【事業の内容】

- ・野球場防球ネット整備
- ・野球場その他周辺整備（防球ネット腰壁設置・スロープ設置・内野グランド整備等）
- ・クラブハウス改修工事実施設計（鉄筋コンクリート造 2 階建・延床面積 634 m²）
- ・新設駐車場・園路整備工事（駐車場台数 70 台・園路幅 2m・延長 150m）



【整備計画】

年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
大会予定等			高校野球 西東京大会（予定） 7月初旬～7月下旬	東京国体 （軟式野球競技） 10月上旬
防球ネット整備工事	(2/21～9/30) 135,000千円			
その他周辺整備工事		(6月～9月) 74,000千円		
クラブハウス改修工事		実施設計 (6月～12月) 9,000千円	改修工事 (8月～2月) 80,000千円	
駐車場・園路歩道整備		実施設計 (6月～9月) 4,000千円	駐車場・園路歩道整備 (10月～6月) 50,000千円	

【主な事業費】

＜歳出＞

- ・野球場防球ネット整備工事 75,430 千円（2010～2011 年度債務負担行為 総額 135,000 千円）
- ・野球場その他周辺整備工事 74,000 千円
- ・クラブハウス改修設計業務委託 9,000 千円
- ・新設駐車場・園路整備工事 20,000 千円（2011～2012 年度債務負担行為 総額 50,000 千円）

＜歳入＞

- ・国民体育大会競技施設整備費補助金（都） 12,585 千円
- ・スポーツ振興くじ助成金（補助率 2/3） 80,000 千円

問い合わせ先	都市づくり部 公園緑地課長 東	電話	793-7648
--------	-----------------	----	----------

件 名	町田市立陸上競技場整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
183,925		0	0	37,000	0	146,925

【事業の背景・目的】

町田市は、スポーツによるまちづくりの一環として「スポーツを見て楽しむ環境づくり」を進めています。

野津田公園内にある町田市立陸上競技場については、2013 年に開催される第 68 回国民体育大会のサッカー競技会場としての整備を行い、今後はサッカーチーム「FC 町田ゼルビア」の J2 昇格に向けた整備及び、陸上競技場の第三種公認に必要なトラック整備などを予定しています。

2011 年度は、各種イベントの集客に対応するため、野津田公園西側駐車場の拡張工事を行うほか、J リーグの基準を踏まえた競技場の整備を進めます。

【事業の内容】

- ・町田市立陸上競技場整備改修事業（メインスタンド整備計画等）
- ・野津田公園西側駐車場拡張工事（拡張分面積約 5,000 m²、新設分駐車場 200 台 既設駐車場 729 台）

【今後の事業予定】

- ・町田市立陸上競技場整備：メインスタンド（2011～2012 年度債務負担行為）
- ・町田市立陸上競技場附属施設類整備：（2011～2012 年度債務負担行為）

【陸上競技場整備計画（予定）】

年度	2011年度												2012年度												2013年度												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月						
大会予定等																																					
基本設計 実施設計	基本設計						実施設計																		陸上競技場使用開始												
メインスタンド・付属棟等整備													工事（工期：2012年4月～2013年2月）																								
西側駐車場整備					工事（工期：2011年7月～12月、6ヶ月）																																
陸上競技場トラック改修													工事（工期：2012年4月～2013年2月）																								

陸上競技場使用開始

国体

【主な事業費】

- ・町田市立陸上競技場整備基本設計・実施設計委託料 120,000 千円
- ・野津田公園西側駐車場拡張工事 50,000 千円
- ・野津田公園西側駐車場用地借上料 6,925 千円



問い合わせ先	都市づくり部 公園緑地課長 東	電話	793-7648
--------	-----------------	----	----------

件 名	国際版画美術館展示事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
28,419		0	0	0	18,630	9,789

【事業の背景・目的】

町田市のブランド力を高め地域の活性につなげていくため、重点政策に掲げる「文化芸術都市の創造」に向け、文化芸術の拠点として集客力を高めるとともに、優れた芸術に触れたいという市民の要請に応えていきます。また、1987年に開館した国際版画美術館は2012年春に25周年を迎えることから、これを記念して有名な画家たちの油彩画や版画の優れた作品を内外から集め大規模な展示を行うこととし、このための準備を2011年度から行います。

【事業の内容】

7回の企画展示と4回の常設展示(ミニ企画)を実施します。春秋の企画展は特別展と位置づけ、収蔵品だけでなく、他機関などからの借用も含めて充実を図ります。

◎春の特別展『駒井哲郎 1920-1976 —こころの造形物語—』4月9日～6月12日

戦後日本の版画界のパイオニアとして知られる駒井哲郎(1920-1976)の全貌に触れる展覧会です。資生堂名誉会長福原義春氏の約500点という大コレクションを2期に分けて展示します。上・下巻の長篇小説を読むように、駒井のこころの造形物語を味わっていただける展示をめざします。第1部・第2部のセット割引も予定しています。

◎秋の特別展『目覚めよ！好奇心 版画でつくる 驚異の部屋へようこそ！』10月8日～11月23日

珍しいもの、不思議なもの、得体の知れないもの…それらを世界中から集めて一堂にならべてみたい！そんな飽くなき好奇心から、15～18世紀にヨーロッパで流行した「驚異の部屋」の雰囲気や版画で構築します。2009年に収蔵品のみで開催し好評だった企画を、他の所蔵機関からの協力も得て、さらに充実させた展示とします。

※開館25周年記念展示事業 春の企画展(2011～2012年度債務負担行為)

○開催時期：2012年4月上旬～6月上旬(予定)

○展示概要：ミレー、マネ、ドガ、ゴーギャン、ムンクといった著名な画家たちの油彩画と版画を100点以上展示します。開館25周年にふさわしい、親しみやすく同時に華やかな展示内容とします。

展示作品は、海外及び全国の美術館等から借用したものに合わせ、当館の収蔵作品から厳選します。

【主な事業費】

<歳出> ■展示事業

展覧会ポスター等作成委託料 6,510千円、

ディスプレイ作成委託料 4,185千円、巡回展負担金 4,000千円

■開館25周年記念展示事業

(2011～2012年度債務負担行為 総事業費 21,273千円)

展覧会図録等作成委託料 5,873千円、

海外借用委託料 6,000千円、通信運搬費 5,000千円



<歳入> 展覧会観覧料 11,316千円

問い合わせ先	文化スポーツ振興部 国際版画美術館副館長 古屋	電話	726-2771
--------	-------------------------	----	----------

件 名	ごみ減量普及事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
85,509		0	0	0	85,509	0

【事業の背景・目的】

環境先進都市をめざし、ごみの減量と資源化の促進に向けて「ごみになるものを作らない、燃やさない、埋め立てない」ことを基本方針として、循環型のまちづくりを市民と行政が協働で推進していきます。

【事業の内容・主な事業費】

リサイクル広場事業 21,480 千円

- ・市が開催する常設及び移動広場（5 箇所）を継続して実施します。
- ・地域の方が主体となって開催するリサイクル広場の活動を応援します。運営する団体との間で協定を締結し、市の HP、広報で団体のリサイクル広場活動を PR します。また、必要な用具・物品を貸与します。

- 【主な事業費】 ●常設・巡回広場運営委託料 19,934 千円
●PR パンフレット印刷製本費 173 千円
●地域リサイクル広場消耗品 250 千円



生ごみ処理機普及事業 35,517 千円

- ・家庭用生ごみ処理機・たい肥化容器購入費の一部を補助します。（限度 20,000 円、補助率 3/4 以内）
- ・設置場所を確保できる、10 世帯以上で構成された団体に大型生ごみ処理機を無償で貸し出します。
- ・生ごみの資源化を推進するグループに対して、生ごみ処理機の貸与や必要な物品を支給することにより、グループの活性化と拡充を図ります。

- 【主な事業費】 ●家庭用生ごみ処理機等購入費補助金 200 台分 4,000 千円
●大型生ごみ処理機借上料 19,644 千円
●生ごみ資源化グループ支援用消耗品 150 千円



堆肥化実験事業 10,550 千円



剪定枝資源化センターで生産された土壌改良材を原料とし、市内生産農家が使用するために十分な効能を有するたい肥作り実験を拡大して行います。（農業振興課共同事業）

- 【主な事業費】 ●堆肥化実験事業運営委託料 10,000 千円
●堆肥化事業用地借上料 550 千円

イベントごみ減量普及事業 15,706 千円

地域で行われているお祭りなどで、分別による再資源化や使い捨て食器の見直しなどを推進するため、分別ステーションの備品無料貸出しやリユース食器等の斡旋提供などを継続して行います。

- 【主な事業費】 ●イベントごみ減量普及事業委託料 15,656 千円
●イベントごみ推進支援金 50 千円



ごみナクナーレの発行 2,256 千円



発行回数を年 1 回から年 2 回に拡大します。市が、市民や事業者等と一緒に取り組んでいる事例などを中心に、ごみ減量に関する様々な情報をお伝えします。

- 【主な事業費】 ●ごみ減量啓発紙印刷製本費 1,213 千円
●ごみ減量啓発紙配布委託料 1,043 千円

※全事業で廃棄物減量再資源化等推進整備基金を活用します。

問い合わせ先	環境資源部 ごみ減量課長 篠崎	電話	797-0530
--------	-----------------	----	----------

件 名	環境マスタープラン改定事業					
要求額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
18,000		0	0	0	0	18,000

【事業の背景・目的】

現行の町田市環境マスタープランは 2011 年度で計画期間が終了します。最近の環境関連の法整備への対応（法律・都条例等の規制動向含む）、現行計画策定以降の新たな環境政策への対応、一般廃棄物資源化基本計画、緑の基本計画等、関連計画の策定や見直しに対する対応などを盛り込んだ計画とします。

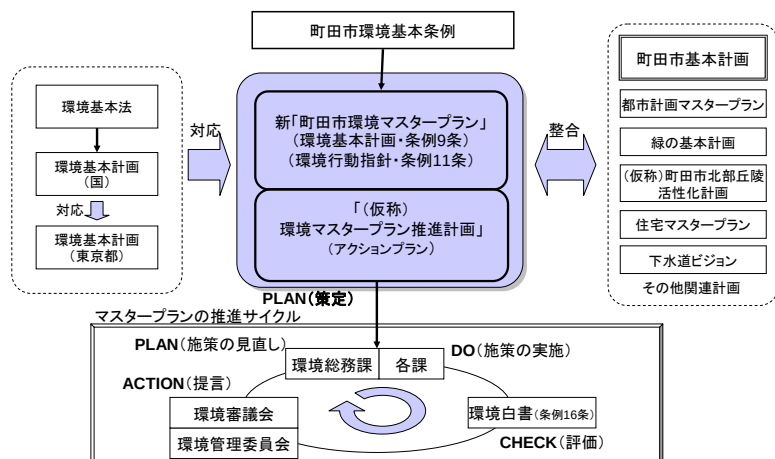
《改定の考え方》

1. 市民、事業者、町田市の三者で取り組み、「環境先進都市」を目指す実効性の高い計画の策定
2. 目標、成果指標、施策に加え、施策を担当する部署や実行スケジュールを明示した計画の策定
3. 進行管理を PDCA サイクルにより行い、施策の進捗度合いを改善に結びつけられる計画の策定

《計画の柱》

- ①地球温暖化対策
- ②ごみの発生抑制及び資源化
- ③自然環境と歴史的文化的環境の保全と回復
- ④良好な生活環境の創造
- ⑤環境に関する情報発信・環境教育の推進・市民協働

新「町田市環境マスタープラン」の位置づけ



《スケジュール》

2011 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
計画作成	● 目標	● 施策	● (推進計画)	● 推進体制	● 素案決定	● 計画案決定・最終調整	● 計画決定・印刷					
★：環境審議会、検討会 (●：検討委員会、○：ワーキング)	○	●	★	○	○	○●★	○●★	○●★			○●★	
市民意見聴取・報告		● 市民意見交換会	● 素案検討	● 素案検討	● 素案検討		パブリックコメント					● 報告会

【主な事業費】

- 市民意見交換会委員謝礼 180 千円
 - 環境マスタープラン印刷製本費 2,140 千円
 - 環境マスタープラン作成支援委託料 15,645 千円
- (2010～2011 年度債務負担行為 総事業費 16,500 千円)

問い合わせ先	環境資源部 環境総務課長 内山	電話	797-7112
--------	-----------------	----	----------

件 名		リサイクル施設整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
33,706		0	0	0	0	33,706
【事業の背景・目的】 2010 年度に策定する一般廃棄物資源化基本計画を受けて、老朽化した清掃工場、リサイクル文化センターを含むごみ処理施設及びプラスチックごみ処理施設等の整備基本計画策定を開始します。 また、新しい施設建設までの間の現有するごみ処理施設等の効率的な延命計画を策定します。 【事業の内容】 ○ 施設整備基本計画策定 検討期間：2011 年 4 月～2013 年 3 月 検討組織：（仮）資源循環型施設整備検討委員会（学識経験者及び市民で構成） 開催回数：年 13 回（全 26 回）を予定 ○ 廃棄物処理施設長寿命化計画策定 検討期間：2011 年 4 月～2012 年 3 月 検討対象：焼却処理施設、粗大不燃処理施設 ○ 施設整備基礎調査 調査期間：2011 年 4 月～2012 年 3 月 調査対象：ビン・カン選別施設、ごみ中継施設、剪定枝資源化施設、ペットボトル減容施設の老朽化状況等 【主な事業費】 ○ 施設整備基本計画策定 委員謝礼 5,537 千円 資源循環型施設整備基本計画策定支援委託料 12,750 千円 （2011 年度～2012 年度 債務負担行為 総事業費 28,900 千円） ○ 廃棄物処理施設長寿命化計画策定 廃棄物処理施設長寿命化計画策定支援委託料 8,300 千円 ○ 施設整備基礎調査 施設整備基礎調査等委託料 7,000 千円						
						
問い合わせ先	環境資源部 環境総務課長 内山			電話	797-7112	

件 名		都市農業経営パワーアップ事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
45,000		0	30,000	0	0	15,000

【事業の背景・目的】

本事業は、都市農業の経営力を強化することを目的として、認定農業者などの高い営農意欲を持った農業者を対象として、農業施設の整備補助を行うものです。東京都の「都市農業経営パワーアップ事業」を利用して補助を行います。

【事業の内容】

5 軒のトマト生産者に対して、トマトの年間を通した出荷を目的としたハウスの設置を支援します。これにより生産量の増加、および病虫害の防除を図り、農業経営の安定・強化を行います。

＜現状の課題＞

現状は露地栽培中心のため、多くの生産者同士で生産・出荷時期が重なり、商品価格の下落や、供給の空白時期が生じています。

＜改善点＞

ハウス栽培を行うことで、細かい温度管理が可能となり、生産・出荷時期を調整することで一年を通して安定した供給を図ることができます。

＜目標＞

生 産 量：現状の 20%増
 農業収入：現状の 20%増

【主な事業費】

＜歳出＞

都市農業経営パワーアップ事業補助金 45,000 千円

＜歳入＞

都市農業経営パワーアップ事業補助金 30,000 千円
 （都補助金）

※上記の予算額のほか、自己負担額が 15,000 千円あります。
 （総事業費：60,000 千円〔都：1/2、市：1/4、自己負担：1/4〕）

ハウス内のトマト生産の様子



問い合わせ先	経済観光部 農業振興課長 佐伯	電話	724-2885
--------	-----------------	----	----------

件 名		北部丘陵整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
79,007		0	31,487	0	0	47,520
【事業の背景・目的】 （仮称）町田市北部丘陵活性化計画に基づき、「人と人が育む、美しく、いきいきとした町田ならではの里山」の実現に向けて、2011 年度から、地域の価値・魅力を活かしたまちづくりを具体的に進めます。 2011 年度は、地域の農業環境や生活環境の向上、地域の自然環境等を楽しみに訪れる市民の憩いの場の整備などの事業を実施します。 【事業の内容および主な事業費】 <u>農道整備事業 31,500 千円</u> 農道を整備することにより、地域の農業環境向上を図ります。 ①拡幅整備事業 23,400 千円 東京都の小規模土地改良事業〔11,700 千円・補助率 1/2〕を利用して実施 ■事業期間・・2009～2012 年度 ■整備規模・・延長 150m 幅員 4.0m ■受益農地面積・・約 2.3ha ■事業箇所・・小野路町地内 ■2011 年度事業 ○擁壁設置 ○排水設備 ②現道整備事業 8,100 千円 ■整備規模・・延長 450m 幅員 1.8m ■受益地面積・・約 1.2ha ■事業箇所・・小野路町地内 <u>見晴らし木陰整備事業 3,420 千円</u> フットパスなど地域を訪れる散策者や地域住民の憩いの場を整備します。 ■整備内容・・○園路整備 ○テーブル・椅子設置 ■事業箇所・・小野路町地内 <u>道路整備事業 18,900 千円</u> 地域生活環境の向上や来街者が訪れやすくなることを目指して、地域の主たる生活道路である忠生 579 号線の拡幅改良整備を行います。 ■事業期間・・2011～2018 年度 ■整備規模・・計画延長 1,500m 計画幅員 13.0m ■事業箇所・・上小山田町地内 ■2011 年度事業 ①地形測量 13,700 千円 ②道路概略予備設計 5,200 千円 <u>雑木林再生事業 19,787 千円</u> 東京都のふるさと雇用・緊急雇用創出事業〔19,787 千円・補助率 10/10〕を利用して、雑木林の再生、里山環境の向上を図ります。（3 カ年事業の 3 年目） ■事業面積・・約 8.2ha（3 箇所） ■事業箇所・・小野路町、下小山田町及び上小山田町地内						
問い合わせ先	経済観光部 北部丘陵整備課長 西村			電話	724-2758	

件 名		公園整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
999,027		254,000	0	549,000	50,114	145,913
【事業の背景・目的】 「町田市緑の基本計画」に基づき、一人当たり20.3㎡の都市公園の確保を目指し、多くの人々が憩える公園や緑地を確保し整備を進めています。						
【事業の内容】 薬師池西公園、三輪緑地、能ヶ谷緑地、薬師池北緑地の用地2.6haを購入します。						
	都市計画決定	事業認可	計画面積	買収予定 総面積	2011年度 買収予定面積	用地買収 計画年度
薬師池西公園	2009年1月	2009年2月	8.6ha	2.3ha	0.7ha	2008年度～ 2012年度
三輪緑地	2008年6月	2010年9月	20.4ha	14.7ha	0.6ha	2010年度～ 2015年度
能ヶ谷緑地	2010年9月	2010年11月	2.3ha	0.8ha	0.6ha	2011年～ 2014年
薬師池北緑地 （予定）	2011年度中	2011年度中	7.3ha	4.6ha	0.7ha	2011年～ 2015年
【整備構想】 ○ 薬師池西公園・・・自然環境と田園風景を保全・活用しながら隣接の薬師池公園、町田えびね苑等とともに観光拠点としての整備を図ります。 ○ 三輪緑地・・・「町田市緑の基本計画」において「三輪水と緑の拠点」として位置づけられ、隣接するこどもの国や寺家ふるさと村と一体となった自然環境に恵まれた一団の緑地です。東京都指定史跡の下三輪玉田谷戸横穴墓群があり、自然環境と歴史が調和した拠点として整備します。 ○ 能ヶ谷緑地・・・「町田市緑の基本計画」において多摩丘陵・里山東西軸に位置しており、市街地に残された自然環境豊かな緑地です。 ○ 薬師池北緑地・・・「町田市緑の基本計画」において「七国山水と緑の拠点」として位置づけられ、隣接には民権の森公園（町田ぼたん園）・薬師池西公園（事業中）・七国山緑地保全地域、近隣には薬師池公園・町田えびね苑・町田ダリア園等があります。 ○ 薬師池公園とぼたん園、えびね苑、リス園などの周辺施設を一体的に利用できるように全体構想を作成します。						
【主な事業費】						
<歳出> 用地購入費		956,139 千円				
薬師池周辺整備基本構想策定支援業務委託		6,000 千円				
<歳入> 社会資本整備総合交付金（国・補助率 1/3）		254,000 千円				
緑地保全基金		50,114 千円				
問い合わせ先	都市づくり部 公園緑地課長 東			電話	793-7648	



件 名	原町田一丁目地区まちづくり事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
12,750		0	0	0	0	12,750

【事業の背景・目的】

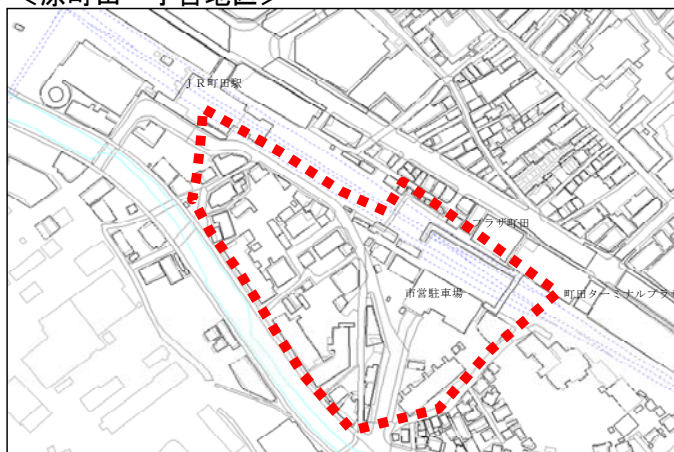
町田駅周辺の中心市街地（以下、「中心市街地」という。）は、半径 10km 圏内の居住人口が約 200 万人にのぼる都市圏の拠点となっており、多摩地域最大級の商業地として発展してきました。

今後もこの中心市街地の求心力を持続させるため、広域的な拠点としてふさわしい商業、サービス、交流といった多様な機能の集積を促進する、新たな事業計画づくりが必要です。

その中心市街地の中にあつて原町田一丁目地区は、町田の南側の玄関口でありながら、鉄道による中心市街地南北の回遊性の遮断や、市営駐車場の老朽化といった課題を抱えています。

この課題を解決するため、地区にふさわしい景観の形成や、広場機能などの整備を進めるとともに、中心市街地南北の回遊性を高め、神奈川県県央方面からの集客力の向上を図ることで、より一層にぎわいのある中心市街地の形成を目指します。

＜原町田一丁目地区＞



【事業の内容】

再開発の手法により、市営駐車場の機能更新や広場機能、交通基盤施設の整備を図るため、関係地権者や地域住民の方々、事業者などと連携して、まちづくりの将来像と土地利用、都市基盤の整備方針を示す基本計画の策定を進めます。

【主な事業費】

○基本計画案の策定 7,750 千円

- ・事業計画素案の検討
- ・交通施設計画の検討

○事業化に向けた組織づくり 5,000 千円

- ・関係地権者との協議・調整
- ・地域住民への周知・広報活動



問い合わせ先	経済観光部 産業観光課 中心市街地活性化推進担当課長 池ノ内	電話	724-3296
--------	-----------------------------------	----	----------

件 名	観光交流センター整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
106,731		42,389	0	47,000	0	17,342

【事業の背景・目的】

小野路地域の自然環境と歴史的な街並みをいかした一体的な街づくりの一環として、旧民家（角屋）を改修し、観光交流の拠点としての機能を持つ「（仮称）小野路宿通り観光交流センター」を建設します。

<事業箇所>

町田市小野路町 888-1

<事業計画>

	2011年度	2012年度	2013年度
工事 関連	■観光交流センター建設工事（1年目/2ヵ年工事） ■隣接水路改修工事	■観光交流センター建設工事（2年目/2ヵ年工事）	■観光交流センターオープン
運営 関連	■施設設置条例検討	■施設設置条例制定 ■指定管理選定 ■指定管理協定締結	

【事業の内容】

- 観光交流センター建設工事（2011年度～2012年度債務負担行為 総事業費 197,433 千円）

主屋の既存建物を活かしながら観光交流センターとして再整備します。また、既存の土蔵、味噌蔵、製茶場についても様々な事業に活用できるよう再整備し、全体としての修景を整えていきます。

<施設イメージ>



東立面



北立面

- 隣接水路（東側）改修工事

観光交流センターの建設にあたり、付近の通行の安全確保と景観の向上のため、隣接水路（東側）を暗渠化し、歩道整備を行います。

【主な事業費】

	事業費	国庫支出金 （社会資本整備 総合交付金）	市債	一般財源
観光交流センター建設工事	78,973	31,589	35,000	12,384
隣接水路（東側）改修工事	27,000	10,800	12,000	4,200

問い合わせ先	経済観光部 産業観光課長 小池	電話	724-2944
--------	-----------------	----	----------

件 名	路線バス利用促進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
234,750		38,000	0	67,000	0	129,750

【事業の背景・目的】

「だれもが公共交通を使って不便なく移動できるまち」の実現を目指し、路線バスの利便性向上を図るため、町田バスセンターと山崎団地を結ぶ路線バス区間に連節バスを導入します。また、バスの走行環境改善、町田バスセンター改修などを行うことで、路線バスの定時性・速達性向上を目指します。

【事業の内容】

連節バスの導入は、東京都内では初めてです。

関係機関との調整を進め、道路・停車スペース等の施設改修を図り、連節バス導入を進めます。

バス事業者が導入する連節バス運行システムの事業に助成を行います。

【事業予定】

・連節バス運行開始：2012年3月

・設計業務：2011年4～6月

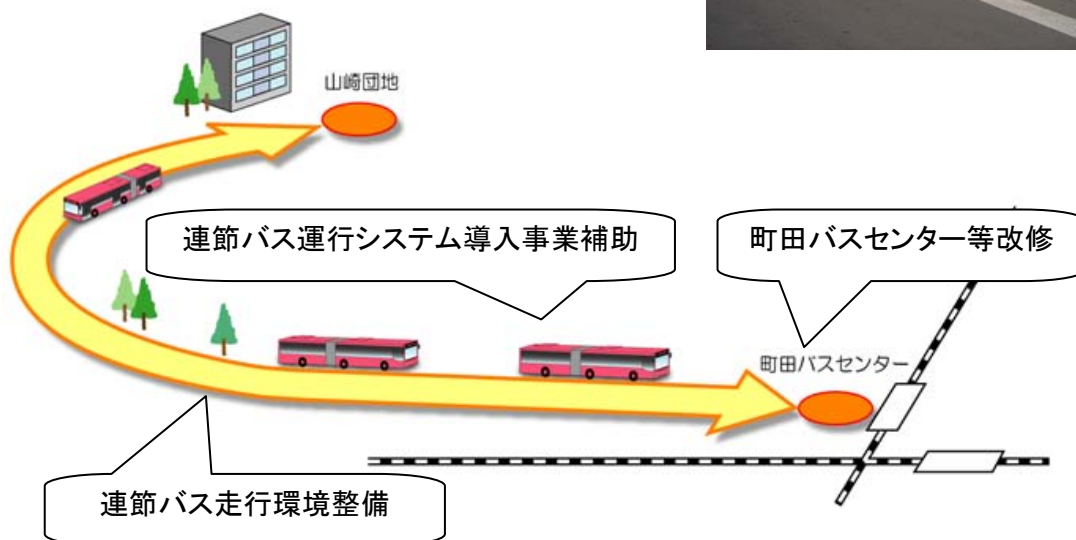
町田バスセンター等の改修

バスレーン等の走行環境整備

・改修等工事：2011年8～12月

町田バスセンター等の改修

バスレーン等の走行環境整備



【主な事業費】

＜歳出＞	・バスセンター等改修設計業務委託	6,000 千円
	・バスセンター等改修工事	37,500 千円
	・連節バス走行環境整備工事	79,000 千円
	・連節バス運行システム導入事業補助金	112,250 千円
＜歳入＞	・社会資本整備総合交付金(国・補助率 1/3)	38,000 千円

問い合わせ先	都市づくり部 都市計画課 交通計画担当課長 渋谷	電話	709-0614
--------	-----------------------------	----	----------

件 名	地域コミュニティバス運行事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
20,018		0	4,100	0	285	15,633

【事業の背景・目的】

町田市では、地域住民、バス事業者及び市の三者協働により、公共交通不便地域の解消と、だれもが利用可能な公共交通サービスの拡大を目指し、地域コミュニティバス運行事業に取り組んでいます。

現在、玉川学園地区（玉ちゃんバス）、金森地区（かわせみ号）にて運行されておりますが、市内の他地区においても地域組織が立ち上がるなど、地域コミュニティバスに対する要望が多く寄せられています。

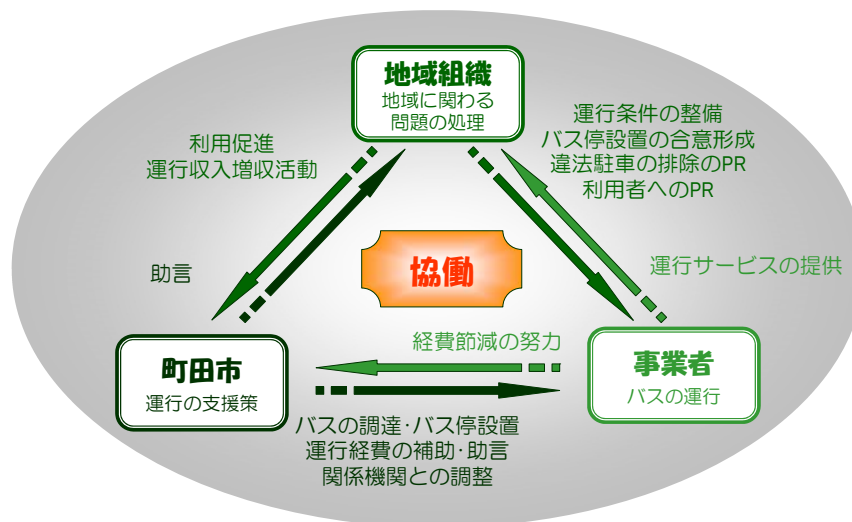
2011 年度は、高ヶ坂地区への 2012 年度導入に向けた準備と、その他新規路線の検討を進めます。

【事業の内容】

○新規路線導入に向けた基本調査

目的	新規路線導入に向けた課題整理・運行計画の検討
対象	高ヶ坂地区（JR 横浜線成瀬駅～高ヶ坂地区～町田バスセンター） 小山田地区（小山田地区～小田急多摩線唐木田駅）
内容	対象地区の現状把握 住民ニーズの把握（2 地区の住民アンケート） 運行ルートを検討 事業・運営体制の検討

○既存運行路線のバス運行事業者に対する経費の一部補助



【主な事業費】

<歳出>

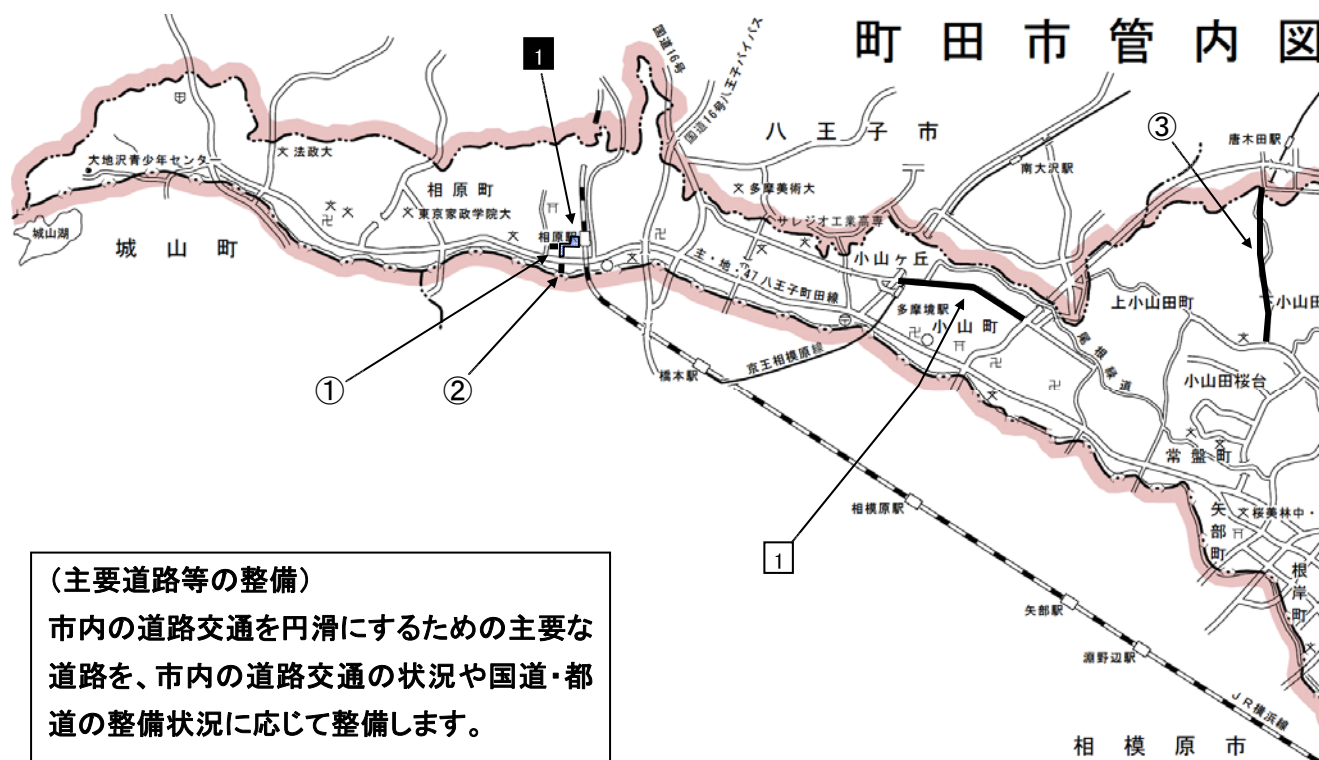
- ・コミュニティバス導入検討基本調査 8,000 千円
- ・町田市地域コミュニティバス運行事業補助金 12,000 千円

<歳入>

- ・地域福祉推進包括補助（都） 4,100 千円

問い合わせ先	都市づくり部都市計画課 交通計画担当課長 渋谷	電話	709-0614
--------	----------------------------	----	----------

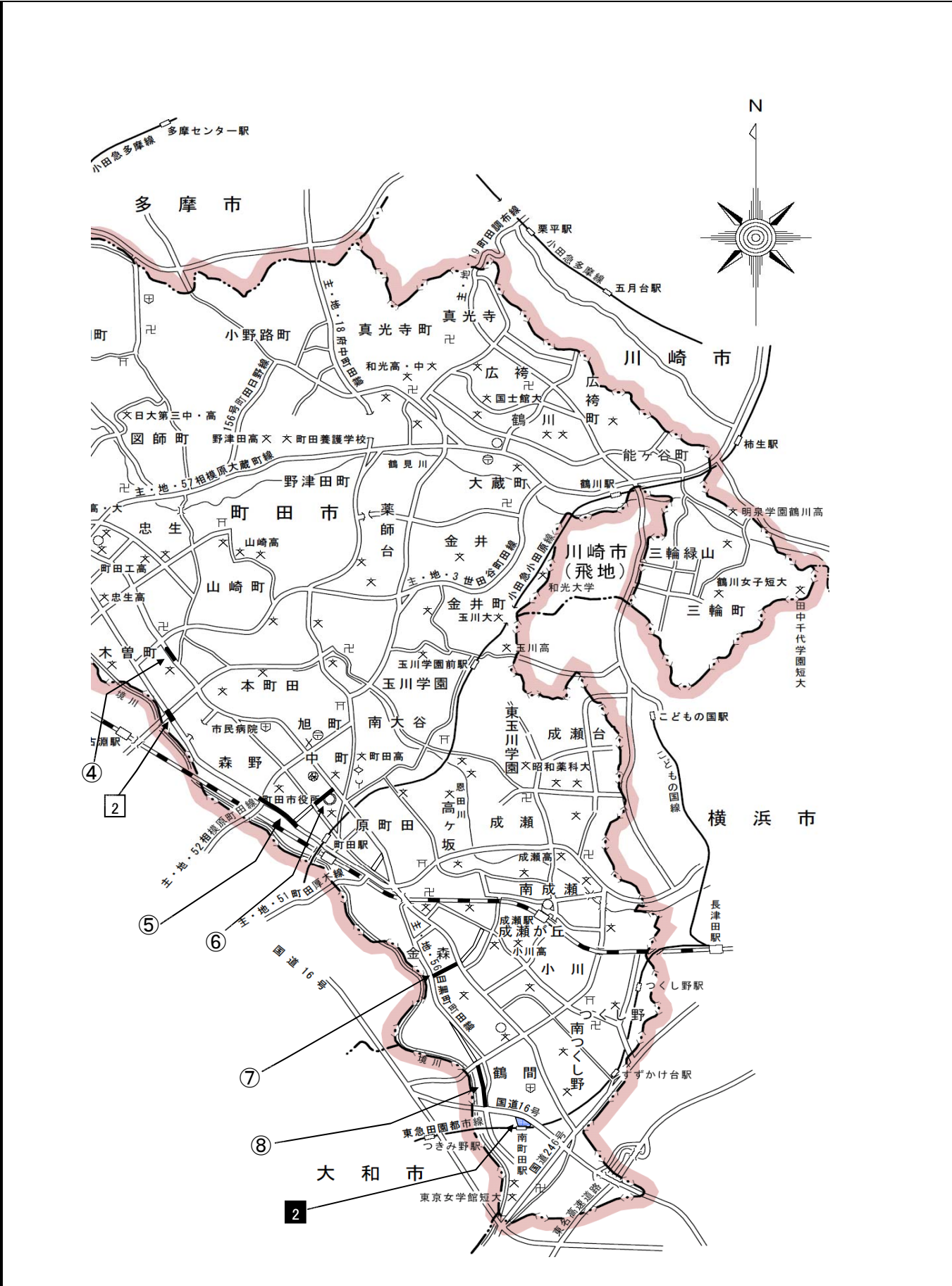
件 名	主要道路整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,360,077		285,450	345,118	117,000	233,173	379,336



重点事業名	箇所番号	個別事業名	事業費(千円)	備考
主要道路整備	①	準幹線道路・堺853号線	11,900	
	②	都計道3・4・49(相原町)	52,521	
	③	準幹線道路・忠生630号線(その2)(取付道)	47,880	
	④	都計道3・4・38(木曽東)	212,440	都道町田街道拡幅事業「新みちづくり・まちづくりパートナー事業」による都との協働事業
	⑤	準幹線道路・町田78号線	174,032	
	⑥	都計道3・4・33(中町)	50,200	一部歩道開通済み
	⑦	都計道3・4・34(金森)	155,957	
	⑧	都計道3・4・37(鶴間)	286,808	
渋滞交差点改良	1	幹線道路・堺2000号線(その2)	6,300	
	2	幹線道路・町田437号線(教育センター南交差点)	4,500	
駅前広場整備	1	相原駅西口広場	312,039	
	2	南町田駅北口広場	45,500	

<歳入>

・社会資本整備総合交付金(国)	285,450 千円
・東京都市町村土木補助(補助率 1/2)	345,118 千円
・みちづくり・まちづくりパートナー事業受託収入	212,440 千円
・土地売払代	20,733 千円



問い合わせ先	建設部 道路整備課長 藤谷	電話	724-1122
--------	---------------	----	----------

件 名		新庁舎建設事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
7,667,903		738,085	0	4,398,400	2,226,367	305,051
【事業の背景・目的】 現在の市庁舎は 1970 年に建設されましたが、耐震性能の不足による地震への不安、防災・災害復興拠点としての機能不足、狭あい、本庁機能の分散化、情報技術(IT)対応の限界、駐車場不足など様々な問題を抱えています。町田市では長年にわたり、市民や学識経験者が参画する場を設けて問題解決のための検討を行い、2009 年 10 月に新庁舎建設に着手しました。約 3 年間の工事期間を経て 2012 年 7 月に新庁舎での業務を開始する予定です。						
【事業の内容】 ■2011 年度の事業概要 ○庁舎本体工事 2012 年 3 月竣工(予定) ○立体駐車場、外構等別途発注工事 2012 年 7 月の開庁を目指して 順次工事を進めて行きます。 ○移転準備開始 運搬業者との契約締結						
【主な事業費】 <歳出> ■建設費用 ○庁舎建設工事費 7,293,000 千円 (2009～2012 年度継続費事業 総事業費 14,979,000 千円) ○工事監理委託料 69,852 千円 (2009～2012 年度継続費事業 総事業費 209,557 千円) ■移転準備費用 ○備品購入費 150,000 千円 (2011～2012 年度債務負担事業 総事業費 800,000 千円) ○運搬料 0 千円 ※債務負担行為の設定のみ(2011 年度の支出なし) (2011～2012 年度債務負担事業 総事業費 110,000 千円) ■その他 ○庁舎建設推進支援業務委託料 28,095 千円 ※執務空間レイアウトや移転計画等に関する支援業務委託 (2010～2012 年度債務負担事業 総事業費 114,505 千円) ○電気引込工事費負担金 26,565 千円 ○電波障害対策委託料 100,000 千円						
<歳入> ○防衛施設周辺民生安定施設整備費(国) 738,085 千円 ○公共施設整備等基金 2,226,367 千円						
問い合わせ先	政策経営部 新庁舎建設課長 傳田			電話	709-0593	



件 名	下水道ビジョン策定事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
5,931		0	0	0	0	5,931

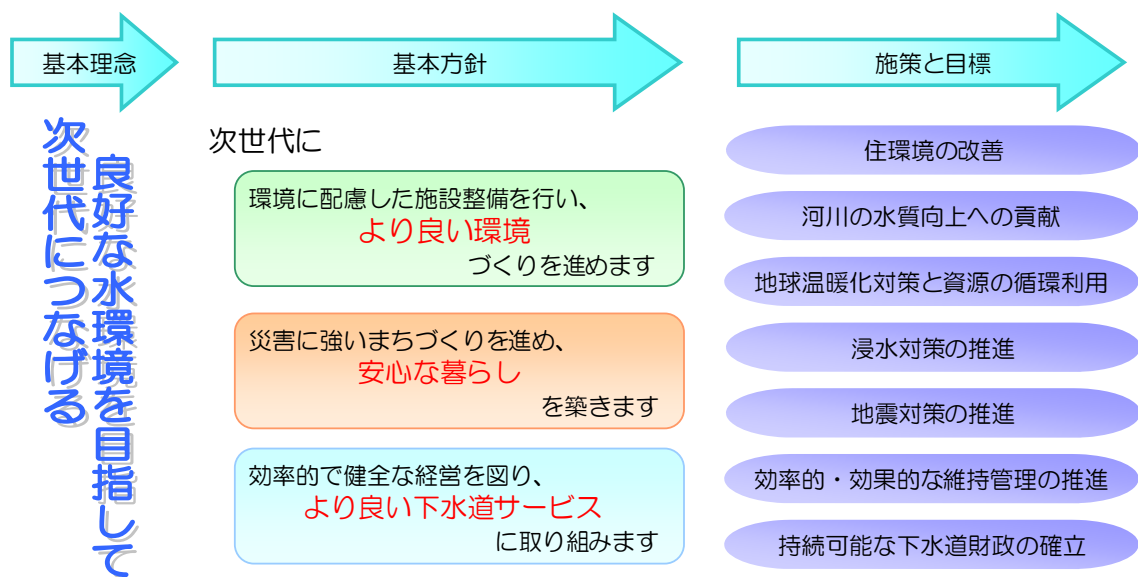
【事業の背景・目的】

町田市では 1964 年に下水道事業に着手し、整備区域を順次拡大し、2013 年度には市街化区域の污水管整備を概ね完了します。一方、事業費の大きな処理場の改築更新時期を間近に迎えているほか、浸水被害対策や、大規模地震への対応、地球温暖化対策など多くの課題があり、污水整備完了後の方向性を定める必要があります。

このような状況の中、「長期的な視野に立ち、今後の下水道のあり方に関する基本的な方針や施策の方向性を示し、市民の下水道事業への理解を深め、協力を得ながら着実に下水道の役割を果たす」ことを目的に、2012 年度を初年度とする概ね 30 年の計画「下水道ビジョン」と 5 年間の事業計画「下水道アクションプラン」を策定します。

【事業の内容】

2010 年度の検討の中で、下水道のもつ本来的な役割と境川や鶴見川の源流市であるという地理的特性、住宅都市であり商業都市でもある立地条件とを考慮し、下水道事業によって未来に責任をもって引き継ぐものを「きれいな河川」と「災害への安心」としました。これらを「効率的な経営」のもとで進めていくという考えから、町田市下水道の基本理念とその実現のための基本方針等を以下の通りとし、2011 年 12 月の「下水道ビジョン」及び「下水道アクションプラン」の策定に向けてさらに検討を進めていきます。



○策定スケジュール

8 月 パブリックコメント実施

12 月 下水道ビジョン、アクションプラン公表

【主な事業費】

下水道ビジョン策定支援委託料	5,200 千円
下水道ビジョン策定懇談会委員等謝礼	731 千円



問い合わせ先	上下水道部 上下水道総務課 担当課長 須原	電話	720-1819
--------	-----------------------	----	----------